

供述調書ノ請  
求

旅費日當ヲ請求シ得ルコト法律ガ鑑定人ニ關シ規定スル所ヲ適用シテ不可ナルコトナカルベシ

被告人ハ供述書ノ謄本ヲ求ムルコトヲ得ルナリ是レ前ニ供述シタル所ニ遺漏ナキカ又ハ供述ノ齟齬シタルナキカ自己ニ不利益ヲ來タサザラシメンガ爲メニ其下付ヲ求ムルモノナレバナリ之ニ反シ證人ノ訊問調書共同被告人ノ供述書等ハ被告人ノ請求アルモ決シテ其謄本ヲ下付ス可カラズ又原本ヲモ閱覽スルコトヲ許ス可カラズ是レ訊問ノ秘密ヲ保チ又被告人ヲシテ證人ヲ怨マシムルコト等ナカラシムル爲ナリトス

### 第四款 証人ノ訊問

日本臣民其他我裁判權ニ服スルモノハ犯罪事件ニツキ證人トナリ證言ヲナスノ公權利ヲ有スルト共ニ之ヲナスコトガ又公義務タリ故ニ現行犯タルト非現行犯タルトヲ問ハズ司法警察官ハ事實ノ真相ヲ得ル爲メニ犯罪事實ヲ見タルモノ又ハ聞キタルモノヲ證人トシテ喚問スルコトヲ得ルモノタリ非

召喚ニ應ゼザ  
ルトキ

證人呼出ニ關  
スルコト

現行犯ニアリテハ公力ヲ以テ證言ヲ爲スノ義務ヲ強制スル能ハザレドモ現行犯ニアリテハ公力ヲ以テ此ノ義務ヲ強制スルコトヲ得ルモノニシテ證人ニ對シ呼出狀ヲ發シ而カモ證人之ニ應ゼズ出頭セザルトキハ豫審判事ノ如ク罰金ヲ言渡スコトヲ得ズト雖ドモ拘引狀ヲ發シ強テ出頭セシムルコトヲ得ルモノタリ證人出頭シテ證言ヲナサシムルニ當リテハ先ヅ宣誓ヲ用ユルコトナク其供述ヲ聽カザル可カラズ證人ノ訊問ニ關シテハ三項ニ分チテ之ヲ説明セントス一證人呼出ニ關スルコト二證人トナルベキ資格ニ關スルコト三證人訊問ニ關スルコト是ナリ

一、證人呼出ニ關スルコト

證人ノ呼出ニツキテハ形式ヲ備ヘタル呼出狀ヲ發スベシ其呼出狀ノ末尾ニ更ニ之ニ應ゼザルトキハ拘引スルコトアルベキ旨ヲ記載シ置クベキナリ凡ソ日本國民其他我裁判權ニ服スルモノハ我法令ヲ知悉ス可カラザル義務ヲ有スト雖ドモ凡百ノ法律命令タル職ヲ司法ニ致スモノニ於テモ尙一々記憶ニ存スル能ハザルモノナレバ普通人ニ於テ能ク一々記憶ニ存スルモノアル

ベキコトナク且ツ又事實上法律ヲ知ラザルモノ多キヲ以テ呼出狀ニ拘引スベキコトアル旨ヲ記載シ豫メ戒告シ置クモノナリ呼出狀ノ送達ト出頭トノ間ハ少ナクトモ二十四時間ノ猶豫ヲ與ヘザル可カラズ呼出ニ應ズルハ公義務ナレドモ呼出アリトテ直チニ之ニ應ゼザル可カラズトセバ家事其他急要ナル用務ヲ棄テ他日非常ナル不利益トナルコトヲ生ズルアルヲモ願ルヲ得ズ皆擧テ犠牲ニ供セザル可カラザルノ不幸ヲ來シ人民ノ利益ヲ蹂躪スルモノタラズンバアル可カラズ此ノ如キハ人民ノ權利ヲ重ゼザルノ甚シキモノナルヲ以テ法律ハ此ノ猶豫ヲ與ヘ其間ニ充分ナル用意ヲナサシムルナリ呼出ニ應ゼザル可カラザルハ人民ノ公義務ニシテ進ンデ證言ヲナスベキモノタレドモ法律ハ或場合ニ於テハ呼出ニ應ゼズシテ可ナル場合ヲ示セリ

(イ) 證人ガ疾病又ハ公務其他事實上ノ故障ノ爲メニ出頭シ能ハザルトキ

(ニ) 現役ノ軍人軍屬ニシテ軍務上差支アリテ其長官之ヲ許サザルトキ

事實上ノ故障トハ洪水汎濫流行病發生ノ爲交通遮斷等其他不可抗力ニヨルモノヲ云フ又豫備後備ノ軍籍ニアルモノハ其所屬長官又ハ隊長ノ許可ヲ要

證人ノ資格ニ關スルコト

セザルモノナリトス

豫審判事ノ如キハ證人出頭セザルトキハ罰金ヲ言渡ス權限アリト雖ドモ司法警察官ニ於テハ之ナシ豫審判事ニ此ノ權限ヲ賦與スルハ證據蒐集上ノ理由ニ基ツクモノニシテ證人出頭セザルニ當リ之ヲ檢事ニ告發シテ裁判ニ付ストスル如キコトアラバ時日ノ遷延ヲ來タシ敏速ヲ要スルニモ拘ハラズ直チニ證人ヲ強制威迫シテ證言ヲナサシムルコトヲ得ザレバナリ司法警察官ニアリテハ純然タル行政官ニシテ元ヨリ證憑ヲ蒐集スルハ其職分ナリト雖ドモ輕罪刑タル罰金ニ處スル權限マデ賦與シテ證憑ヲ蒐集セシムル必要ナケレバナリ

二 證人ノ資格ニ關スルコト

證人出頭スルトキハ先ヅ其氏名住所年齢身分職業及ビ被告人又ハ被害者トノ關係ヲ訊問スベシ證人タルモノガ訴訟關係人ト縁故アルトキハ被告人ニトリテ或ハ不利益ナル陳述ヲナシ或ハ利益ナル陳述ヲナサンガ爲メニ虛偽ノ申立テヲナスコトアリ故ニ此等ノモノハ證人トナスノ資格ナシ法律ガ證

- 人トナルコトヲ許サルモノ大凡左ノ如シ(刑訴一二三、一二四)
- (イ) 被害者又ハ被告人ノ親屬但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキト雖ドモ亦同シ
  - (ロ) 被害者又ハ被告人ノ後見人又ハ此等ノ者ノ後見ヲ受クルモノ
  - (ハ) 被害者又ハ被告人ノ雇人又ハ同居人
  - 以上ノモノハ被害者又ハ被告人ニ對シテ利害ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ其供述タルヤ必ラズシモ公平ニ出ヅル能ハザルナリ
  - (ニ) 十六歳未滿ノ幼者
  - (ホ) 知覺精神ノ不充分ナル者
  - (ヘ) 瘖啞者 但瘖ナルカ又ハ啞ナルモノハ證人タルベキ資格アリ証人體ナルトキハ書面ヲ以テ問ヒ啞ナルトキハ書面ヲ以テ答ヘシム瘖啞者文字ヲ知ラザルトキハ通事ニ命ズベシ
- 以上ノモノハ何レモ刑法上ノ無能力者ニシテ其陳述タルヤ又充分ノ信憑ヲ措ク可カラザルモノナリ

- (ト) 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者は管テ罪ヲ犯シ刑法上ノ制裁ヲ受ケタルモノニシテ社會ニ信用セラレザルモノナリ
- 以上一ヨリ八迄ノモノハ證人トナス可カラザルモノナレドモ事實參考ノ爲メニ其供述ヲ聽クコトヲ得ルナリ證人タル可キモノニハ拘引シテマデモ捜査上ノ必要アレバ強制シテ證言ヲナサシムベキモノナレドモ以上ノ者等ニ對シテハ之ヲナス可カラザルナリ
- 司法警察官ノ訊問ニ對シテ證言ヲ拒ムコトヲ得ル場合アリ
- (イ) 官吏公吏又ハ官吏公吏タリシ者其職務上黙秘ス可キ義務アル事情ニ關スルトキ
- (ロ) 醫師藥商穩婆辯護士公證人神職僧侶其身分職業ノ爲ニ委託ヲ受ケタルニ因リテ知リタル事實ニシテ黙秘スベキモノニ關スルトキ
- 以上ノ者等ハ皆其身分職業ニヨリ關係人ノ秘密ヲ知ルモノナルヲ以テ是等ノ者ヲ證人トシテ強テ證言ナサシムル如キアラバ却テ公益ヲ害シ秩序ヲ紊スコトアルベキヲ以テ法律上之ヲ拒ムコトヲ許シタモノナリ蓋シ黙秘シ又

証人訊問ニ關スルコト

ハ證言ヲ拒ムトキハ其理由ヲ述ベシムルコトヲ要ス

三、 証人訊問ニ關スルコト

証人ヲ訊問ナスニハ先ヅ其氏名住所職業ヲ問ヒ以テ其人違ニアラザルナキヤヲ糺シ取調ヲナスニ當リテハ數人ノ證人各別ニ之ヲ訊問シ又被告人ト證人トハ各別ニ訊問スベシ是レ或ハ後難ヲ恐レ或ハ愛憎畏懼ノ念ニ堪ヘズ或ハ他ノ陳述ニ雷同シ爲メニ事實ヲ掩蔽シ又ハ知ルヲ知ラズト答フルナキヲ保ス可カラザレバナリ然レドモ事實發見ノ爲メ必要ナリトスルトキハ證人ト他ノ證人又ハ被告人ト對質セシムルコトヲ得ルナリ證人ニ對スル訊問ノ方法ハ被告人ニ對スル訊問ノ方法ト畧相異ルコトナキモ證人ハ被告人ノ如ク自己ノ利ヲ計ルニ汲々トシテ容易ニ眞實ヲ吐カザルモノト同一視ス可カラザルヲ以テ其供述ニ對シ辯駁討論ヲナシ追究推問スベキモノニアラズ然レドモ亦證人ノ供述他岐ニ涉ルトキハ之レヲ止メ齟齬アルトキハ之ヲ質スベシ

訊問ノ場所

証人ノ訊問ハ警察署ニ於テナス可キガ本則ナレドモ其供述スル所犯罪ノ場

訊問ノ方法

鑑定ノ必要

所ノ模様等ニ關シ實地ニ臨ムニアラザレバ到底其詳細ヲ知悉スルコト能ハズ又ハ確實ナルヲ望ミ難キトキハ證人ト同行シ其場所若クハ其他ノ場所ニ至リ訊問スルモ可ナリ又證人ヲシテ證據物件ニツキ證明セシムルヲ要スルトキハ成ル可ク其物件ヲ示スベキナリ證人ノ訊問ニ付テハ訊問ノ順序ヲ追ヒ即時ニ其調書ヲ作ルベシ證人其陳述ヲ増減變更セシムルコトヲ申立タル片ハ更ニ其陳述ヲ聽キ調書ヲ作ルベシ調書ニハ司法警察官及ビ證人共ニ署名捺印スベシ若シ證人署名捺印スル能ハザルトキハ其旨ヲ附記スベキナリ

第五款 鑑定

司法警察官ハ萬能ノ技量ヲ有スルモノニアラズ被告人ヲ逮捕シ又ハ訊問スル如キ物理上ノ動作ハ其職權上ナシ得ベキ所ナレドモ犯罪ノ性質方法及ビ結果等ニツキ明快ナル判斷ヲ下スノ能力ヲ有スル能ハズ別ニ學術技藝ニ長スルモノノ能力ヲ假ラザル可カラズ鑑定人即チ是ナリ毒殺ノ如キ死体ヲ解剖シ吐瀉物ヲ分拆シ以テ鑑定シタル上ニアラザレバ毒殺ナリヤ病死ナリヤ

鑑定ノ目的

分明スル能ハズ又死人アル場合ニ別ニ身体ノ外部ニ異状ナケレバ壓死ナルカ又ハ窒息死ニ至リタルモノナルカ鑑定アルニアラズバ分明スル能ハズ又殴打創傷アリタルトキニ當リ其結果ニツキ鑑定ヲ待ツニアラズバ篤疾ニ至ル可キカ廢疾ニ至ル可キカ幾日間ノ疾病休業等ニ至ルベキカ毫モ分明セザルナリ是レ鑑定人ノ鑑定ヲ必要トスル所以ナリ

凡ソ鑑定人ハ證人ノ如ク犯罪ノ事實ヲ見聞シタルモノニアラズ犯罪事件アリテ後其犯罪ノ性質方法及ビ結果ヲ鑑定シ唯自己鑑定ノ結果其意見ヲ述ブルニ止マルモノタリ證人ノ如キ若シ出頭セズ陳述ヲ拒ム如キコトアラバ之ガ爲メニ遂ニ公明ナル裁判ヲ下ス能ハザルガ如キニ至レドモ鑑定人ノ如キハ然ラズ唯意見ヲ述ブルニアルヲ以テ特定ノ人ヲ要セズ若シ夫レ鑑定人鑑定ニ應ゼザルニ當リ強テ其自由ヲ拘束シテ之ヲ鑑定セシムル如キアラバ鑑定人ハ誠實ナル鑑定ヲナサズ爲メニ満足ナル結果ヲ得難キヲ以テ之ニ應ゼザルヲアルモ拘引狀ヲ發シテ其自由ヲ強制シ強テ鑑定ヲナサシム可カラザルナリ然レドモ亦鑑定ハ特別ノ智識ヲ有スレバトテ何人タルヲ問ハズ之ヲ

鑑定ノ處分

爲サシム可カラズ鑑定人ハ被害者又ハ被告人ノ親族又ハ縁故ナラザルヲ要ス凡テ證人トナル資格ナキモノハ鑑定人トナルコト能ハズ

鑑定ノ處分ハ鑑定人ノ自由ニ一任シ其方法等ニツキ關涉ス可カラズ唯其鑑定スベキ點ヲ指示スルニ止ムベシ然レ其鑑定ニ立會ヒ其結果ヲ得ルニ勉ムベシ此ノ立會ハ自然鑑定人ヲ督勵スルノ利益アルナリ許多ノ日子ヲ要スル如キ場合ニアリテハ職務上ノ滯留ヲ來ス虞アルヲ以テ立會ハザルモ可ナリ

鑑定人ハ必スシモ一人ニ限ラズ同時ニ數名ヲシテ鑑定ナサシムル必要アレバ之ヲナサシムベシ鑑定人未熟ナルカ正常ノ差支生ジタルカ又ハ一人ニシテ事足ラザルトキハ或ハ之ヲ止メテ他ノ鑑定人ヲシテ換ラシメ或ハ人數ヲ増加スヘキナリ

鑑定ノ處分ハ司法警察官立會ヒタリト雖ドモ別ニ調書ヲ作ラズ鑑定人ヲシテ鑑定書ヲ作ラシメ之ニ其手續結果及ビ鑑定ヲナシタル時間ヲ詳記セシムベシ若シ鑑定ノ上其結果ヲ得ザルトキハ其推測スル所ヲ記載セシムベシ數名ノ鑑定人アリテ各其意見ヲ異ニスルトキハ各自ニ鑑定書ヲ作ラシメ又各

自意見ヲ同フスルトキハ一箇ノ鑑定書ヲ連署ニテ作ラシムベシ鑑定書ニハ鑑定セシ年月日ヲ記載シ署名捺印シ毎葉ニ契印セシムベシ鑑定書作製ノ上ハ之ヲ檢閲シ其不明不備ノ點アルトキハ更ニ其説明書ヲ作ラシメ鑑定書ニ添付スベシ鑑定ノ事ハ現行犯非現行犯共ニ司法警察官ノ任意ニ鑑定人ニ命ジ得ベキ所タリ歐打創傷ノ類而シテ現行犯ニアリテモ鑑定人ニ之ヲ命ズルニ於テ敢テ強制權ヲ以テ臨ム可カラズ然トモ鑑定ノ目的物ニツキテハ非現行犯ト現行犯ト大ニ處分ヲ異ニス非現行犯ニアリテハ鑑定ノ目的物ニツキテ強制ノ處分ヲナシ能ハズト雖ドモ現行犯ニアリテハ公力ヲ以テ處分ヲナシ得ルモノタリ現行犯ニ關スル證據物件ニシテ鑑定ヲナス必要アルトキハ如何ナル人ガ之ヲ所持スルヲ問ハズ押收シテ鑑定ノ目的ニ供スルコトヲ得是レ現行犯ノ強制處分中ニ鑑定ヲ加フル所以ナリ

### 第六款 檢證搜索及物件差押

#### 一、檢證

檢證

搜索

檢證トハ犯所其他ノ場所ニ臨ミ證據ヲ檢スルコトヲ云フ犯所ニ臨檢スルハ現行犯ノ場合ニアリテハ犯罪ノ痕跡ヲ其場所ニ止ムルヲ以テ實地ニ就テ其犯罪ノ場所模様性質方法及ビ結果ヲ檢視スルガ爲メニアリトス世ニハ往々或ル悪計ノ爲メニ家宅内ニ或ル犯罪多クハ盜罪アリタル如ク裝ヒ警察署ニ告訴又ハ告發スルコトアリ此ノ如キ場合ニアリテハ必ラズヤ其場所ニ臨ミ其犯罪ニ就キテ檢スルニアラズバ其眞實ヲ得ルコト難キナリ檢證ヲナシタルトキハ調書ヲ作製ヒザル可カラズ檢證調書ニハ左ノ項目ハ必ラス記載セザル可カラザルコトタリ

- (イ) 檢證ヲナシタル年月日場所及ビ檢證時間
- (ロ) 犯罪ノ性質方法日時場所被告人ノ人違ナキコトヲ證明ス可キ模様及ビ被告人ノ利益トナルベキ模様

(ハ) 被告人ノ氏名モシ分明ナラザルトキ容貌体格  
其他檢證ニ關シナシタル一切ノ手續ハ細大洩ラサズ之ニ附記スベシ

#### 二、搜索

家宅内の捜索

捜索トハ證憑物件ノ探查ニシテ其場所ノ如何ヲ問ハズ山河道路邸宅家屋其他何處ト雖ドモ苟クモ證憑物件ノ存スル場所ナリト思料スルトキハ之ヲナシ得ヘキモノタリ又被告人又ハ事實ヲ證明ス可キ物件ヲ所持スル疑アル者アルトキハ其身体及ビ之ニ屬スル物件ニ就キ捜索ヲナスコトヲ得ルナリ

捜索ハ元ヨリ當然ナシ得ベキモノナレドモ人ノ自由權利ニ重大ナル關係アルモノナルヲ以テ妄リニ之ヲナス可カラザルハ曰フ迄モナク之ヲナスニ當リテモ成ル可ク其以前ニ其旨ヲ告知シ且ツ公力ヲ用ユルナキヲ要ス事實ヲ證明ス可キ物件位ヲ所持スル者アリト雖ドモ藏匿ノ情ナキ者ニ對シテハ住居身体又ハ物件ニツキ捜索ヲナス前本人ニ通シテ之ヲ差出サシムルベシ本人之ヲ肯ゼザルニ當リ公力ヲ用ユルモ未ダ遲キニアラザルナリ

住所ハ人ノ安宅ナリ而カモ妄リニ之ヲ侵ス可カラサルハ我憲法ノ特ニ保障スル所ナリ故ニ住居内ノ檢證捜索ニ付テハ戶主又ハ同居ノ親屬ノ立會アルコトヲ要ス若シ在ラサルカ又ハ白痴瘋癲幼年者ナルトキハ市町村長又ハ在ラサル地ニ於テハ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ヲシテ立會ハシムベシ又官署

公署ニ於テ檢證捜索ハ日出前日没後ニ於テ之ヲナス可カラズ但急速ヲ要スル場合ニシテ戶主ノ承諾アリタルトキ又ハ現ニ禁錮以上ノ刑ニ該ル可キ罪ヲ犯ス者アリテ急速ノ處分ヲ要スルトキハ何時ニテモ其現場ニ限り之ヲナスコトヲ得ルモノタリ之ニ反シ旅店割烹店其他夜間ト雖ドモ衆人ノ出入スル場所ニ於テハ其公開時間内ニ限り何時ニテモ之ヲ爲シ得ベキハ法律ノ認ムル所ナリ

住居内ノ檢證捜索ヲナスニハ成ル可ク穩當ノ方法ヲ用非濫リニ門戶墻壁器具等ヲ損壞スルコトナキヲ要ス被告人其他ノモノガ是等ノ處分ヲ拒ムトキハ公力ヲ用ユルコトヲ得ルモノタリ明ラカニ拒ミタルトキハ即チ門戶ヲ閉チ又ハ鎖鑰ヲ以テ固ムルトキハ之ヲ打破シ又ハ破壞スルコトヲ得ベキモ是等ノ處置ハ容易ニナス可カラズ勿論檢證捜索ハ被告人其他ノモノ、意思ニ反シテナスモノナレドモ穩當ノ方法ヲ取ルベキナリ檢證捜索ヲナスニ當リテ雜沓喧噪其他妨害ヲ加フルモノアルトキハ之ヲ制止シ允許ヲ得ズシテ其場所ニ入り禁ズルニ尙其禁ヲ破ルモノアレバ之ヲ逐斥シ又ハ其處分ノ終ル

迄留置スルコトヲ得ルモノナリ檢證搜索ヲナシ其處分其當日ニ終ラザルコトアルモ之ヲ停止ス可カラズ若シ停止スル必要起リタルトキハ證據湮滅ヲ豫防スル爲メニ場所ノ周圍ヲ閉鎖シ又ハ看守者ヲ置クベキナリ

三、物件差押

物件差押

物件差押トハ檢證搜索ノ場所ニ於テ發見シタル物件ニシテ其出所性質形狀用法等ニ因リ被告人ノ人違ナキコト又ハ犯罪ノ模様ヲ知ルニ足ル可シト思料シタル場合ニ當リ之ヲ差押ユル處分ヲ云フ官吏公吏又ハ官吏公吏タリシ者ノ所持スル物件ニシテ其職務上職務ニ關スル事情ニ關スルモノハ其承諾ヲ得ルニアラザレバ差押ヲナスコトヲ得ズ又醫師藥商穩婆辯護士公證人神職僧侶其身分職業ニヨリ委託ヲ受ケタル物件ニシテ職務ニ關スル事情ニ關スルモノニ付テモ亦然リ然レドモ職務ニ關スル事情ニ關スル原

差押ヘタル物件

因ニツキテハ説明ナサシムベキナリ  
差押タル物件ハ認印若クハ封印ヲナシ且其差押ヲナシタル年月日及ビ件名ヲ記シ其物件ニ添付スベシ所有權ノ侵犯セラレザルハ憲法ニ保障スル所ナ

信書ノ差押

レドモ法律ニ特例ヲ設ケテ之ヲ許ストキハ此ノ限リニアラズ若シ絶對ニ差押ヲナスノ處分出來ザルトキハ被告人等ハ其利益ノ爲メニ之ヲ毀棄湮滅スル處ナキ能ハズ蓋シ差押ハ所有權ノ全部ヲ侵スモノニアラズ其一部タル使用ト毀棄滅盡ヲ禁ズルニ過ギズ一時其處分ヲ禁ズルモノナルヲ以テ其旨ヲ表スル爲メ之ニ封印又ハ認印ヲナスモノタリ封印又ハ認印ヲナシタル物件ハ後日裁判上必要ナルモノナルガ故ニ成ル可ク之ヲ警察署ニ運搬スベシ封印又ハ認印ヲナシタル以上ハ之ヲ破棄スルトキハ刑法上ノ制裁アルヲ以テ別ニ警察署ニ運搬スル必要ナキガ如キモ若シ被告人大罪ヲ犯シタルモノトセン乎數罪俱發例ノ利益ヲ楯トシ刑法上封印破棄ノ罪ヲ犯スヲモ恐ル、所ナク或ハ之ヲ破棄シ或ハ物件ヲ滅盡スルコトナキニアラズ又重要ナル證據物件ニシテ運搬シ難キモノハ看守者ヲ附スル等便宜ノ處置ヲナスベキモノナリトス

信書ノ秘密ヲ侵サル、ナキコトモ亦憲法ノ特ニ保障スル所ナレドモ捜査上事實發見ノ爲メ必要ナリトスルトキハ公益ハ私益ニ勝ルノ原則ヨリ其秘密



ヲモ侵サハル可カラズ然レドモ之ヲ爲スニハ丁重ナル手續ニヨルベキモノ  
 タリ先ヅ犯罪ノ證據トナルベキ郵便電信小包郵便運送物等ヲ差押ヘントス  
 ルトキハ豫メ當該官署又ハ會社ニ其事由ヲ通知セザル可カラズ而シテ之ヲ  
 開披スルニ當リテハ司法警察官獨斷ニテ之ヲナス可カラズ必ラズ其長官タ  
 ル檢事ノ許可ヲ受ベキモノトス是レ憲法ノ主旨ヲ推重スル所以ナリ被告人  
 ノ居宅ニ於テ既ニ開披セル信書ヲ差押ヘタルトキハ之ヲ通讀シ證據トナル  
 ヤ否ヤヲ鑑別スルモ不當ノ事ニアラザルナリ  
 物件ヲ差押ヘタルトキハ其品目ヲ記載シ又ハ別ニ目錄ヲ作り立會人又ハ所  
 有者ニ領置書ヲ渡シ置クベシ後日ノ錯誤ヲ防ガンガ爲メナリ差押ヘタル物  
 件ニシテ證據トナルベキモノハ公訴提起ノ資料トシテ必要ナルモノナレバ  
 檢事局ニ送致スベキモノナリト雖ドモ若シ司法警察官ニ於テ送致スルニ及  
 バズトテ警察署ニ止メ置クモ又假リニ下付シテ其所有者又ハ保管者ニ其保  
 全ヲ命ズルモ何レトモ便宜ノ處置ヲナスベシ所有者又ハ保管者ニ下付シタ  
 ルトキハ何時ニテモ差出スベキ受書ヲ差出サシメ置クベキナリ

### 第七章 捜査ノ補助

司法警察官ハ如何ニ機敏ナリト雖モ單獨ニ犯罪ヲ捜査シ又ハ處分ヲ爲シ能  
 ハザルモノタリ檢事ニ司法警察官ガ補助機關タル如ク又司法警察官ニモ之  
 ヲ補助スル機關ナカル可カラズ即チ司法警察官ノ補助機關ハ巡查憲兵卒ナ  
 リトス巡查憲兵卒ハ司法警察官ノ付屬トシテ手足トナリ其職務ヲ補助スル  
 モノナリトス

巡查憲兵卒ノ  
 職權

巡查憲兵卒ハ長官トシテ司法警察官ヲ戴ク以上ハ其指揮命令ヲ奉ゼサル可  
 カラズ然レドモ司法警察官ガ檢事ノ下官トシテ殆ンド犯罪ノ捜査ニ關シテ  
 ハ檢事ト同一職權ヲ有スト雖ドモ巡查憲兵卒ニ至リテハ大ニ然ラズ事實上  
 ノ機關タルニ止マルモノタリ故ニ告訴告發ノ如キモ自カラ之ヲ受クル權限  
 ナク唯告訴告發アルトキハ司法警察官ニ取次ヲナスニ過ギズ又犯罪ノ捜査  
 ノ如キ專ラ司法警察官ノ命ナクンバ之ヲナス可カラズ但現行犯ノ如キニ至  
 リテハ逮捕ヲナスコトヲ得是レ刑事訴訟法ニ明文アル所タリ被告人證人ヲ

呼出シ之ヲ取調ベ鑑定人ニ鑑定セシムル等ノコトハ現行犯ノ場合ニテモナ  
スコトヲ得ズ概括シテ之ヲ云フトキハ巡查憲兵卒ハ犯罪ノ捜査ニ付テハ司  
法警察官ノ指揮命令ヲ待ツベキモノニシテ單獨ナル職權ヲ有セズ又處分ヲ  
ナスコトヲモ得ザルモノタリ然レドモ之ニ對シテ例外アリ此ノ例外ノ場合  
ニハ單獨ナル職權アリト云フベキナリ

一、現行犯ノ逮捕

二、令狀執行

令狀執行ハ檢事及ピ司法警察官ノ指揮監督ヲ受クベキモノナレドモ其執行  
ニ關シテハ公力ヲ用ユル點ニ於テハ獨立ノ權限アリトスルナリ

### 第一節 現行犯ノ逮捕

被告人ノ逮捕

刑事訴訟法五十八條ニヨレバ巡查憲兵卒其職務ヲ行フニ當リ重罪又ハ禁錮  
ノ刑ニ該ル可キ輕罪ノ現行犯アルコトヲ知リタルトキハ令狀ヲ待タズシテ  
被告人ノ逮捕スルコトヲ得ルモノタルコトヲ規定セリ禁錮以上ノ刑ニ該ル

家宅侵入

可キ罪ノ現行犯アルニ當リテハ之ヲ逮捕スルコトガ巡查憲兵卒ノ職務タリ法  
律ニハ職務ヲ行フニ當リトアルヲ以テ職務ヲ行ハザル際即チ非番ノ如キ場  
合ニアリテハ被告人ヲ逮捕セズシテ可ナルガ如シト雖モ既ニ職ヲ司法警察  
ニ奉ズル以上ハ當番非番ノ區別ナク現行犯若クハ準現行犯アリト認知シ又  
ハアリタリト思料シタルトキハ之ヲ逮捕スル法律上ノ義務アルモノト謂ハ  
ザル可カラズ然レドモ其事件輕微ニシテ且被告人逃走ノ恐ナシト思料スル  
場合ニハ必ラスシモ被告人ヲ逮捕セザルモ可ナリトス逮捕スルハ被告人ノ  
逃走證據湮滅ヲ防グニアルモノナレバナリ

物件ノ差押

巡查憲兵卒ハ司法警察官ノ指揮命令ニ是レ從ハザル可カラザル下官ニシテ  
夫レ自身ニ於テ強制ノ處分ヲナスノ權能ナケレドモ逮捕スル場合ニアリテ  
ハ人ノ家宅内ニ進入スルコトヲ得ルナリ目的ハ逮捕ニアルヲ以テ其以外ノ  
コトハ如何ナル場合ト雖ドモナス可カラズ證據物件ノ目前ニ散在スルアラ  
バ假リニ押收スルコトハ差支ナキモ單ニ家宅内ニ存在スルナラント思料スル  
場合ニアリテ家宅ヲ搜索スル如キハ決シテ爲ス可カラザルナリ例ヘバ賭博

犯アルヲ認知シ犯人ヲ逮捕スル爲メニ家宅ニ侵入シ現場ニ存スル骨牌金  
 錢ノ類ハ押收スルヲ爲シ得ベキモ殺人犯人ヲ家宅ニ逮捕シタル場合ニ當  
 リヨシ殺人ニ供シタル刀劍其家宅内ニ藏匿シアリト信ズルモ搜索ヲナス可  
 カラザルナリ但戸主又ハ管守者ノ承諾アルキハ家宅ヲ搜索スルモ妨ナシト  
 ス現場ヨリ犯人逃走シ之ヲ追跡シタルトキハ場所ノ如何ヲ問ハズ進入シテ  
 之ヲ逮捕スルコトヲ得ベキナリ逮捕ハ強制ノ處分ナレ成ル可ク穩當ノ方  
 法ヲ用ユベシ妄リニ拔劍等ノコトハナス可カラズ然レドモ被告人兇器ヲ持  
 シ抵抗スルトキハ防衛ノ方法トシテ劍銃ヲ用ユルハ止ムヲ得ザルコトタリ  
 賭博犯ノ如キ犯人數多アリテ到底自己一人ニテ逮捕シ難キトキハ他ノ巡查  
 憲兵卒ノ力ヲ假ルコトヲ請求スルヲ得レドモ急速ヲ要スル場合ニアリテハ  
 一人ニテモ逮捕手段ヲ取ラザル可カラズ數多ノ犯人ヲ一時ニ一人ニテ逮捕  
 スルハ爲シ難キ業ナルヲ以テ其中ノ首犯ト思料スル所ノモノヲ逮捕スル  
 ニ勉ムベシ刑事巡查ノ功名ヲ一身ニ收ムルノ虛榮心ニ驅ラレテ重大ナル犯  
 人ヲ一人ニテ逮捕セントシテ却ツテ奔竄セシムルノ失敗ニ終リ又ハ輕微ナ

被告人ノ引渡

ル犯罪ヲ妄リニ檢舉スルノ弊アルハ洵ニ慨嘆ノ至リナリト謂ツベシ  
 現行犯準現行犯ニアリテハ巡查憲兵卒犯人ヲ逮捕スルノ權限アリト雖ドモ  
 罰金ノ刑ニ該ル可キ輕罪及ビ違警罪ニ付テハ被告人ヲ逮捕スルコトヲ得ズ  
 其刑ノ性質被告人ヲ拘束スル必要ナキヲ以テナリ此場合ニ於テハ被告人氏  
 名住所ヲ問ヒ證憑ヲ具シ當該官署ニ告發スベシ罰金以下ノ刑ニ該ル可キ現  
 行犯準現行犯ノ被告人ト雖ドモ其氏名分明ナラズ又ハ逃走ノ恐アルトキハ  
 檢事又ハ警察官署ニ引致スベキモノトス  
 被告人ヲ逮捕シタルトキハ速ニ司法警察官ニ引致シ押收シタル兇器贓物其  
 他罪證トナルベキ物件アルトキハ同時ニ司法警察官ニ送致スベキナリ被告  
 人ヲ司法警察官ニ引渡スニ當リテハ逮捕シタル事由ヲ申告スベシ何トナン  
 バ被告人ヲ受取リタル司法警察官ハ逮捕及ビ告發ニ付キテノ調査ヲ作ラザ  
 ル可カラザレバナリ  
 被告人ヲ逮捕シ尙證據蒐集上臨檢搜索等ヲ要スルモノト思料シタルトキハ  
 之ヲ司法警察官ニ報告シ其處分ヲ請フベキモノトス其處分ヲ請フトキニ於

テハ現場ヲ保存シ湮滅ニ歸セシメザルナキコトニ注意シ置クベキナリ  
常人ニシテ現行犯準現行犯ノ被告人ヲ逮捕シタルトキニ當リ之ヲ巡查憲兵  
卒ニ引渡シタルトキハ速ニ之ヲ受取り逮捕ヲナシタル者ニ對シ共ニ官署ニ  
至ルベキコトヲ求ムベシ然レドモ逮捕ヲナシタルモノ氏名住所及ビ逮捕ノ  
原因分明ナルトキハ別ニ同行ヲ求メズシテ可ナリトス

### 第二節 令狀ノ執行

非現行犯ニアリテ豫審判事公判々事現行犯ニアリテ檢事司法警察官ノ發シ  
タル令狀ヲ事實上執行スルモノハ巡查憲兵卒ナリトス非現行犯ニアリテハ  
檢事ハ令狀ノ執行官ニシテ直ニ巡查憲兵卒ニ其執行ヲ命ジ又ハ其執行ノ命  
ヲ司法警察官ニ傳ヘ司法警察官之ヲ巡查憲兵卒ニ執行セシムルコトアリ召  
喚狀ヲ除ク外事實上令狀ノ執行ノ任ニ當ル唯一ノ機關ハ巡查憲兵卒ニシテ  
其上官タル司法警察官ト雖ドモ令狀ヲ執行スベキ職務ヲ有スルモノニアラ  
ザルナリ

### 家宅搜索

巡查憲兵卒ハ檢事司法警察官ノ手足トナリ器具トナリテ令狀ヲ執行スルノ  
職務アルモノナリ而シテ令狀ヲ執行スルニ付テ被告人發見ノ爲メ其家宅若  
クハ他人ノ家宅ヲ搜索スル必要アルトキハ勿論之ヲ爲シ得ベキモノタリト  
雖モ妄リニ人ノ住宅ニ侵入シ搜索ヲナス可カラザルハ憲法ノ保障スル所ナ  
ルヲ以テ必要ノ程度ヲ超脱ス可カラザルナリ被告人潛匿セリト思料スル場  
所以外ヲ搜索シ又ハ潛匿ノ證據充分ナラザルニ濫リニ搜索スルガ如キハ亂  
權ノ誹ヲ免レザルナリ法律ハ公益ノ必要上令狀ヲ攜帶セル巡查憲兵卒ニ搜  
索ノ爲メ家宅ニ侵入スルノ權ヲ認メタルモ尙此ノ權ヲ無制限ニ賦與スルノ  
危険アルヲ鑑ミ其狂暴ヲ防ガン爲メ其地ノ市町村長ノ立會ヲ要セリ若シ市  
町村長差支アルトキハ隣佑二名以上ノ立會ヲ求メシムルコト、セリ官署内  
ニ於テ搜索ヲナス時ハ其長官又ハ其指命シタル者ノ立會アルコトヲ要ス刑  
事訴訟法ニハ人ノ住居ノ搜索ノミヲ規定シ官廳公署ノ搜索ニ付テハ何等ノ  
規定ナキヲ以テ或人ノ如キハ其搜索ヲ許サルモノナリ何トナレバ官廳公  
署ニハ秘密ノ書類アリ若シ之ヲ許セバ此等ノ書類紛亂シ公務ノ妨害ヲナス

### 官廳公署ノ搜

家宅搜索ヲナスベキ時期

ガ故ナリト説ケドモ是レ甚ダ當ヲ得ザル議論ニアラザルナキヲ得ンヤ夫レ人ノ住所家宅ハ生活ノ根據ニシテ金城湯池ナリ苟クモ之ガ搜索ヲ許ス以上ハ官廳公署ト雖ドモ之ヲ許サハル可カラズ若シ之ヲ許サハラントスル乎被告ハ官廳公署ニ潜匿スレバ巡查憲兵卒令狀ヲ持チナガラ如何トモスル能ハズ内地ニ於テ一種ノ不可侵地ヲ設ケタル如キモノニシテ頗ル國家ノ公力ヲ汚損スルモノタリ又被告人其廳其署ノ吏員ナルトキハ證據湮滅ノ猶豫ヲ與フルガ如キモノニシテ急速ニ逮捕スル必要アリテ而カモ機宜ヲ失スル恐ナキ能ハザルナリ

家宅搜索ハ日没前日出後之ヲナスベキモノタリ晝間ヨリナシ初メ其處分ノ終ラザルトキ又ハ戶主管守者ノ承諾アルトキハ夜間ト雖ドモ搜索ヲナスニ於テ妨ゲナシ普通ノ場合ニ於テ夜間ハ何故許サハルカト云フニ人ノ休息シ安眠スル時期ニシテ且暗黒ナルヲ以テ之ニ伴フ危害大ナレバナリ芝居又寄席飲食店湯屋遊船宿待合茶屋旅店ノ類ハ日没後日出前ト雖ドモ其營業ヲナス時間貸座敷ノ如キハ夜間ト雖ドモ何時ニテモ搜索ヲナシ得ベキナリ是レ

搜索調書

人ノ休息安眠ヲ妨害スルコトナケレバナリ

被告人家宅内ニ潜匿シタリト思料スル場合ニ於テ即時ニ搜索ヲナス能ハザルトキハ其逃亡ヲ防グ爲メニ便宜ノ處置ヲナスベキナリ

家宅搜索ヲナシタルトキハ被告人ヲ發見シタルト否トニ拘ハラズ搜索調書ヲ作り之ニ搜索ヲナシタル年月日場所及ビ時間其他搜索ニ關スル一切ノ手續ヲ記載シ之ヲ立會人ニ讀聞カセ署名捺印セシムベシ若シ署名捺印スル能ハザルトキハ其旨ヲ附記スベキナリ

令狀ノ帶行

被告人他ノ管轄ニアルトキハ令狀ハ其地ノ司法警察官ニ囑託シ之ガ執行ヲナサシムベキモノナレドモ若シ急速ヲ要シ現ニ被告人ヲ逮捕セザレバ踪跡ヲ失フカ又ハ證據湮滅ニ至ル恐アル場合ニ於テハ巡查憲兵卒ヲシテ令狀ヲ帶行セシメ被告人ヲ追躡セシム巡查憲兵卒令狀ヲ帶行スルトキニアリテモ之ヲ執行スル場合ニハ其地ノ司法警察官ニ之ヲ示シテ其執行ヲ求ムベシ若シ又途中ニ於テ被告人ヲ撞見シタルトキハ其地ノ司法警察官ニ同行ヲ求メ執行ヲナスベキナリ故ニ令狀ヲ帶行スレバトテ他ノ管轄地内ニ於テハ濫リ

令狀執行ノ方  
法

ニ之ガ執行ヲナス可カラザルナリ  
 凡ソ令狀ヲ執行スルニハ其正本ヲ携帶シ被告人ノ請求アルトキハ之ヲ示ス  
 ベシ是レ正當ノ職務ヲ帶ビテ令狀ヲ執行スルモノナルコトヲ證スル所以ナ  
 リ若シ令狀ヲ携帶セズシテ執行ヲナシ得ベキモノトスレバ猥褻兇暴ノ徒往  
 々名ヲ令狀ノ執行ニ假リ妄リニ人ヲ逮捕シ又ハ家宅ヲ搜索シ掠奪賊盜ノ所  
 爲ヲ働クナキニアラザルナリ令狀ヲ執行シタルトキハ其正本ニ執行ノ場所  
 及ビ日時ヲ記載シ若シ執行スル能ハザリシトキハ其事由ヲ記シ署名捺印シ  
 共ニ檢事又ハ司法警察官ニ之ヲ還納スベシ  
 司法警察官ノ命ニヨリ召喚狀若クハ呼出狀ヲ送達スルニハ其一通ヲ本人ニ  
 渡スベシ本人ニ渡スコト能ハザルトキハ其住所ニ於テ同居ノ親屬又ハ雇人  
 ニ渡スベシ同居ノ親屬雇人ニ渡スコトヲ得ズ若クハ是等ノモノ受取ルコト  
 ヲ肯ゼザルカ又ハ瘋癲白痴幼年者ノ場合ニハ其地ノ公吏ニ渡スベキナリ召  
 喚狀若クハ呼出狀ニハ受取人ヲシテ其三通ニ署名捺印セシムベシ若シ署名  
 捺印スルコト能ハザルトキハ其旨ヲ附記スベシ又送達ノ日時場所及ビ手續

呼出狀ノ送達  
ノ方法

ヲ其三通ニ記載シ署名捺印スベキナリ召喚狀若クハ呼出狀ヲ送達シタルト  
 キハ其一通ヲ司法警察官ニ還納シ送達シ能ハザルトキハ二通ヲ還納スベキ  
 ナリ

〔召喚狀若クハ呼出狀ノ送達ニ關スル手續等ハ別ニ法律ニ規定ナキヲ以テ  
 各地警察署皆便宜ノ手續ニ因ルモノナランモ以上述べタル所ト大差ナカ  
 ルベシ〕

### 第八章 捜査ノ終結

捜査ハ被告事件ノ送致ヲ以テ終ル事件ノ送致トハ司法警察官一應犯罪ノ捜  
 査ヲ終リタルトキニ當リ被告事件ヲ檢事局ニ送付スルコトヲ云フナリ事件  
 ノ送致ハ犯罪捜査ノ終結ニシテ犯罪捜査編ニ掲グルハ聊カ失体ノ嫌ナキニ  
 アラザルモ説明ノ便宜上茲ニ編入スルコトナセリ

事件ノ送致ニ付テハ別ニ刑事訴訟法中何等ノ規定ナキヲ以テ各地方警察官  
 署ニ於テ便宜ノ處置ニ出ヅベキモノタリト雖ドモ其事件ニ關スル記録ノ目

事件送致

録意見書告訴書又ハ告發書被告人證人ノ聴取書又ハ訊問調書捜査復命書毆打創傷罪ノ如キニアリテハ醫師ノ鑑定書原籍調書前科アルモノニハ前科調書等ヲ以テスベキハ各地方警察官署共ニ其捺ヲ一ニスベキモノタラズバアル可カラズ被告人ノ原籍分明ナラズ又ハ原籍地ノ市町村役場ニ照會中ナルトキハ必ラズシモ原籍調書ヲ添付スルノ必要ナク唯其旨ヲ附記スレバ足レリトス前科調書ニアリテモ事件ノ都合上検事局ニ其取調ヲ委嘱スルモ可ナリ重罪又ハ重要ナル輕罪事件ハ被告人ノ誰タルヲ知ル能ハズト雖ドモ捜査充分ナリト思料セバ之ヲ留存セズシテ検事局ニ致送スベキナリ輕微ナル事件若クハ幼者ノ犯罪ニシテ懲罰ノ必要ナシト思料スルモノハ被告人ヲ釋放シテ其旨ヲ意見書ニ附記シ書類ノミ檢事ニ送致スベキナリ要スルニ事件送致ニ關スル手續ハ各地方警察官署ノ慣例ニヨリ又其地方ノ檢事局ガ示メス所ノ詳細ナル手續ニヨルベキモノナルヲ以テ茲ニ詳論スルヲ要セザルモノトス唯説明ヲ要スベキモノトスルハ事件送致ニ關スル管轄檢事局ナリ乞フ少シク之ヲ講究セン

事件ノ管轄

凡ソ事件ニハ違警罪事件アリ輕罪事件アリ又重罪事件アリ而シテ之ヲ管轄スル裁判所ニ付テハ既ニ構成法ニ於テ定マル所タリ裁判所ニハ區裁判所アリ地方裁判所アリ控訴院アリ大審院アリ之ニ附屬シテ區裁判所檢事局アリ地方裁判所檢事局アリ控訴院檢事局アリ大審院檢事局アリ檢事ハ檢事局ヲ組織シ事件ヲ裁判所ニ公訴スルモノナルヲ以テ事件ヲ送致スルニハ檢事局ニナサハル可カラズ而シテ如何ナル檢事局ニ事件ヲ送致スベキカハ裁判所ノ管轄ヲ明ニスルニアラズバ之ヲ知ル能ハザルナリ大審院ノ管轄スル事件ハ刑法第二編第一章第二章ニカ、ヅル重罪及ビ皇族ノ犯シタル禁錮以上ノ犯罪事件控訴院ニアリテハ地方裁判所檢事局若クハ被告人ヨリノ控訴事件地方裁判所ニアリテハ區裁判所ノ權限及ビ大審院ノ權限ニ屬セザル事件又ビ區裁判所檢事局若クハ被告人ヨリノ控訴事件而シテ區裁判所ニアリテハ左ノ事件ヲ管轄ス

一、違警罪

二、本刑五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ若クハ附加セザル二月以下ノ禁錮又ハ單

司法警察官ノ  
認定權

ニ百圓以下ノ罰金ニ該ル輕罪  
 三、刑法第二編第一章ヲ除キ其他ノ輕罪ニシテ本刑二百圓以下ノ罰金ヲ附加  
 シ若クハ附加セザル二年以下ノ禁錮又ハ單ニ三百圓以下ノ罰金ニ該リ共  
 情第二ニ掲ゲタル刑ヨリ更ニ重キ刑ニ處スルコトヲ要セズト認メ地方裁  
 判所若クハ其支部ノ檢事局ヨリ區裁判所ニ移附シタルモノ  
 司法警察官ノ事件ヲ送致スルニハ大審院特別權限ニ屬スルモノハ大審院檢  
 事局ニ控訴事件ニアラザル地方裁判所ノ管轄ニ屬スル事件ハ地方裁判所檢  
 事局ニ區裁判所ノ管轄事件ニシテ第一ヲ除クモノハ悉ク區裁判所檢事局ニ  
 ナスベキモノトス控訴院ハ專ラ地方裁判所檢事局若クハ被告人ヨリノ控訴  
 事件ヲ管轄スルヲ以テ司法警察官ガ直接ニ事件ヲ送致スルガ如キコトナシ  
 茲ニ一箇ノ疑問アリ區裁判所ノ管轄事件タル第三ノモノハ絕對ニ地方裁判  
 所若クハ其支部ノ檢事ガ認定スベキモノナルヤ否ヤニアリ換言スレバ刑法  
 二百六十一條ヲ見ルニ財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者ハ一月以上六月  
 以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ストアリ今司法警察

官賭博罪ヲ檢舉シ充分ナル捜査ヲ遂ゲタル上事件トシテ檢事局ニ送致スル  
 ニハ絕對ニ地方裁判所檢事局ニナスベキヤ又ハ區裁判所檢事局ニモナスコ  
 トヲ得ベキモノナルヤ否ヤト云フニアリ區裁判所管轄事件ノ第二ヲ見ルニ  
 本刑五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ若クハ附加セザル二月以下ノ禁錮トアリ賭  
 博罪ノ本刑及ビ附加刑ヲ以テ之ニ對照スルニ五十圓以下ノ罰金ヲ附加スル  
 ニ於テハ同一タレドモ二月以下ノ禁錮ト一月以上六月以下ノ禁錮トニ至リ  
 テハ聊カ疑ナキ能ハザルナリ疑問ハ檢舉シタル賭博罪ガ二月以上又ハ以下  
 ナルヲ認定スルコトヲ得ルトセバ司法警察官ニモ第三管轄事件ノ認定權ヲ  
 與フルコト、ナルモノタリ或論者ハ曰ク事件ノ區裁判所ノ管轄ニ屬スルヤ  
 否ヤ疑ハシキ場合ニアリテ之ガ認定ヲナスハ地方裁判所檢事局ノ檢事タル  
 コトハ刑事訴訟法ノ精神ナリ故ニ司法警察官賭博ヲ檢舉シタル如キ場合ニ  
 アリテハ先ヅ地方裁判所檢事ニ之ガ判定ヲ乞ハザル可カラザルモノニシテ  
 決シテ自己ノ判斷ヲ以テ區裁判所檢事局ニ送致ス可カラザルナリト是レ嚴  
 格ナル議論ニシテ理由ナキニ非ズト雖ドモ一々地方裁判所檢事ニ判定ヲ乞



フ可キモノトスレバ司法事務ノ滯滞ヲ來タシ敏活ヲ失スルノ患ヲ生ジ且ツ法律上別ニ司法警察官ヲシテ認定セシム可カラズトノ積極的規定モナク又今日ノ實際ニ於テ司法警察官ガ自己ノ認定ヲ以テ區裁判所檢事局ニ送致スルコトガ慣例トナレルヲ以テ司法警察官ニ之ガ認定權ヲ默認スルニ於テ何等ノ不當カアラン單ニ三百圓以下ノ罰金ニ該リ其情百圓以下ノ罰金ニ該ルト認ムルモノニ於テモ亦然リ而シテ司法警察官ニシテ認定ヲ誤ルアラバ區裁判所檢事ニ於テ之ガ移附ノ手續ヲナセバ敢テ不可ナキ所タリ

區裁判所ノ權限ニ屬スル第一ノ違警罪事件ニ付テハ直チニ區裁判所檢事局ニ送致スルコト之ナキナリ違警罪ニ付テハ司法警察官即決處分ヲナス權限アルヲ以テ違警罪事件アレバ先ヅ之ガ處分ヲナシ被告人正式裁判ヲ請求スレバ初メテ書類ヲ區裁判所檢事局ニ送致スルモノトス茲ニ當然區裁判所檢事局ニ送致スベキ輕罪事件ト司法警察官ガ認メテ以テ區裁判所檢事局ヘ送致シ得ベキ輕罪事件トヲ表ニ掲グ聊カ司法警察官執務上ノ一助トナサントス

### 區裁判所檢事局送致輕罪事件表

刑	法
<p><b>當然區裁判所檢事局ヘ送致スベキ輕罪事件</b></p> <p>百三十六條 (第二項) 兇徒多衆ヲ囂察シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ脱險ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者アルニ當リ之ニ附和隨行シタル者 (二圓以上五圓以下ノ罰金)</p> <p>百三十七條 (第三項) 兇徒多衆ヲ囂察シテ官廳ニ喧擾シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者アルニ當リ之ニ附加隨行シタル者 (二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時 (二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時 (三圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>百六十條 官命ヲ受ケズ又ハ官許ヲ得シテ陸海軍ノ用ニ供スル銃藥彈藥其他被覆質ノ物品ヲ私ニ所有シタル者 (二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>百七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサル時 (二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>百七十八條 (第三項) 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者ノ囑託ヲ受ケテ徵兵ニ應シタル者 (二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p>	<p><b>司法警察官ガ認メテ以テ區裁判所檢事局ヘ送致シ得ベキ輕罪事件</b></p> <p>百四十一條 (第一項) 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者 (第二項) 又ハ其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者 (一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>百四十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者 (一月以上六月以下ノ重禁錮)</p> <p>百四十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者 (一月以上六月以下ノ重禁錮)</p> <p>百四十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタルモノ (第四十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ)</p> <p>百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルヲ知テ之ヲ隱匿シ若クハ隱避セシメタル者 (十一月以上一年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>百五十二條 他人ノ罪ヲ免レシメンコトヲ圖リ其罪證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シタル者 (十一月以上六月以下ノ輕禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時 (一月以上一年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p>

刑

法

百七十九條 醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分拆又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ背セサルトキ(四圓以上四十圓以下ノ罰金)

百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ背セサル時(四圓以上四十圓以下ノ罰金)

百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ背セサル時(五圓以上五十圓以下ノ罰金)

百九十二條 貨物ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルコトヲ知リ之ヲ行使シタル者(但シ行使シタル價額百圓以下ナルコト)

百九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)

二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬新身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)

二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ借用シタル者(十五日以上二月以下ノ輕禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金)

二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ固テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者(十一日以上一月以下ノ重禁錮二圓以上五圓以下ノ罰金)

百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時(十五日以上六月以下ノ重禁錮)

百五十七條 (第二項)前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金)

百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止メ正犯ノ使令ニ供シタル者(各本刑ニ照シ二等ヲ減ス)

百七十一條 (第二項)晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者(十一日以上六月以下ノ重禁錮)

(第二項)一 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタルトキ

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供スヘキ物品ヲ攜帶シテ入りタル時

三 暴行ヲ爲シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

(第一項)處分ニ一等ヲ加フ)

百七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮)

若シ前條ニ記載シタル所爲アル時(一等ヲ加フ)

百七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ入りタル者(前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ)

百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者身休ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時(一年以上一年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金)

刑

法

二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他所ニ出シタル者(十一日以上二月以下ノ輕禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金)

二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者(二十圓以上二百圓以下ノ罰金)

二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)

二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)

二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫藥ヲ爲シタル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)

二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)

二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)

二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所爲アル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)

二百七十二條 虐偽ノ風説ヲ流布シテ毀壞其他衆人需用物品ノ價值ヲ低セシメタル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)

二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利

以上三十圓以下ノ罰金)

(第二項)若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應ジシメタル者又同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應ジタル者(第二項)ノ例ニ照シテ處断ス)

二百十條 (第二項)其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金)

二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金)

二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者(十五日以上六月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金)

二百十五條 官吏情ヲ知リテ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

自己ノ爲メニシテ他人ノ爲メニスルヲ分タス公務ヲ免ルヘキ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金)

二百十六條 陸海軍ノ徵兵ヲ免ル可キ爲メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書ヲ造リタル醫師(前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ)

二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シタル者(亦偽造ノ刑ニ同シ)

二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告ノ輕重ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩

刑	法
ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者(十一日以上二月以下ノ輕禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	
二百八十一條 水火震災ノ際官吏四人ノ監禁ヲ解ケコトヲ忘リ因テ疾病休業ニ至ラサル創傷ヲ負ハシメタル時(四百二十五條ニ照シ一等ヲ加フ)	
三百〇一條 (第三項)人ヲ毆打シ疾病休業ニ至ラスト雖モ身体ニ創傷ヲ成シタル者(十一日以上一月以下ノ重禁錮)	
三百〇四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者(但疾病休業ニ至ラサルトキ)	
三百〇六條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者(但疾病休業ニ至ラサルトキ)	
三百〇八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癱瘓疾ニ致シタル者(十回以上百回以下ノ罰金)	
三百〇九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタル者(二回以上五十回以下ノ罰金)	
三百一十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者(十一日以上二月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	
三百一十六條 (第二項)毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者(十一日以上二月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	
三百一十八條 前條ノ方法ニ因リ親屬ニ害ヲ加フヘキ事ヲ以テ脅迫シタル者	
蔽シテ偽證ヲ爲シタル時(一年以上一年以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	
二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタル時(偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ)	
二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)	
二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲ爲シタル時(前數條ニ記載シタル例ニ照シテ處断ス)	
二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐僞ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者(亦偽證ノ例ニ同シ)	
二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者(一月以上三月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	
二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮)	
二百四十四條 人ノ健康ヲ害スヘキ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)	
二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮二十四回以上二百回以下ノ罰金)	
二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スルヲ知リテ制セサル者前條ノ刑ニ一等ヲ加フ)	

刑	法
四百〇九條 火ヲ失シテ家屋財産ヲ燒燬シタル者(二回以上二十回以下ノ罰金)	
四百十條 過失ニ因リ火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣并蒸溜機ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者(二回以上二十回以下)	
四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者(前同條)	
四百二十三條 牛馬以外ノ家畜ヲ殺シタル者(二回以上二十回以下ノ罰金)	
二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他所ニ出テタル者(十五日以上六月以下ノ輕禁錮十回以上百回以下ノ罰金)	
二百五十條 官許ヲ得ズシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者(二十回以上二百回以下ノ罰金)	
二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者(前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス)	
二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)	
二百六十二條 財物ヲ賭集シ富籤ヲ以テ利益ヲ儲俸スルノ業ヲ興行シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)	
二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀壞シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	
二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ殺類其他衆人ノ需用ニ缺クカラサル食物ノ賣買ヲ妨害シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)	
前項ニ記載シタル以外ノ物品ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス	
二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者(十五日以上三月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)	

刑

法

二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者(亦前條ニ同シ)  
 二百七十條 農工ノ雇人共雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)  
 二百七十一條 雇主共雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者(亦前條ニ同シ)  
 二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者(二十回以上五百回以下ノ罰金)  
 二百七十七條 人ノ身体財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サル者(十五日以上三月以下ノ輕禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)  
 二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セズシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正二人ヲ監禁シタル者(十五日以上三月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)  
 二百七十九條 司獄官吏程式ヲ遵守セズシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者(亦前條ニ同シ)  
 二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クニ怠リ因テ創傷ニ致シタル者(毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ)  
 三百一一條 (第二項)其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラ

法

刑

サル者(一月以上一年以下ノ重禁錮)  
 (第三項)疾病休業ニ至ラスト雖モ身体ニ創傷ヲ成シタルモノ(十一月以上一年以下ノ重禁錮)  
 三百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者(仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス)  
 三百六條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者(現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス)  
 三百十七條 踈慢懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セズ過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者(二十回以上二百回以下ノ罰金)  
 三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)  
 三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者(各一等加フ)  
 三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタル者(亦二條ノ例ニ同シ)  
 三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮)  
 三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者(亦前條ニ同シ)  
 三百三十二條 醫師醫藥又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者(各一等加フ)  
 三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮)  
 自ラ生活スルコト能ハサル幼者又ハ老疾者ヲ遺棄シ

刑	法
<p>タル者(亦同シ)</p> <p>三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保奏ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時(各一等ヲ加フ)</p> <p>三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ知テ之ヲ扶助セズ又ハ申告セサル者(十五日以上六月以下ノ重禁錮)</p> <p>若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルヲ知テ扶助セズ又ハ申告セサル者(亦同シ)</p> <p>三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ強行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者(第二百二十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處断ス)</p> <p>三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者(事實ノ有無ヲ問ハズ左ノ例ニ照シテ處断ス)</p> <p>一 公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者(十一日以上三月以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)</p> <p>二 書類圖章ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者(十五日以上六月以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)</p>	

刑	法
	<p>三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代官人辯護人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者(十一日以上三月以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)</p> <p>三百六十四條 子孫其祖父母母ニ對シ衣食ヲ供給セズ其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者(十五日以上六月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ產物ヲ竊取シタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮)</p> <p>三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者(亦前條ニ同シ)</p> <p>三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還付セズ又ハ官署ニ申告セサル者(十一日以上三月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者(十一日以上三月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>三百八十九條 家資分散ノ際簿簿ノ類ヲ破毀毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者(一年以上二年以下ノ重禁錮)</p> <p>三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ毀消シタル者(一年以上二年以下ノ重禁錮)</p> <p>三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差</p>

法	刑
<p>押へタル物件ヲ竊匿脱漏シタル者(第三百八十八條ノ例ニ照シテ處断ス)</p> <p>第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者(十一月以上一年以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者(一年以上二年以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者(二月以上五年以下ノ重禁錮二回以上五十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ圍池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者(十一月以上三月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者(十一月以上六月以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者(十一月以上六月以下ノ重禁錮三回以上三十回以下ノ罰金)</p> <p>第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮二回以上二十回以下ノ罰金)</p>	

意	則罰買賣鐵富	方罰處盜窃外屋決
<p>第十六條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽証又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタル者(一月以上一年以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)</p> <p>第十七條 他人ノ登錄意匠ヲ摸擬シタル者又ハ情ヲ知テ其摸擬シタル物品ヲ販賣シタル者(十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十回以上二百回以下ノ罰金)</p>	<p>第一條 凡富鐵賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者(一月以上六月以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)</p> <p>第二條 凡富鐵ヲ購買シタル者ハ其價ヲ拂ヒタルト未タ拂ハサルヲ問ハス(二十日以上四月以下ノ重禁錮四回以上四十回以下ノ罰金)</p> <p>第三條 第一條第二條ノ罪ヲ再犯シタル者(同條ニ定メタル刑罰金額ノ二倍ニ處ス)但初犯ニ科シタル刑罰金額ニ下ルヲ得ス</p>	<p>第一條 家屋其他ノ建造物外ニ於テ犯シタル竊盜ニシテ未タ遂ケサル者又ハ已ニ遂ケタルモ其贓額五圓ニ滿サル者(十一月以上二月以下ノ重禁錮)</p> <p>第二條 田野、山林、川澤、池沼、湖海ニ於テ其產物ヲ窃取セントシ又ハ牧場ニ於テ其獸類ヲ窃取セントシテ未タ遂ケサル者又ハ已ニ窃取シタルモ其贓額五圓ニ滿サル者(亦前條ニ同シ)</p>
		<p>第三條 決闘ニ依テ人ヲ創傷シタル者(刑法ノ各本條ニ照シテ處断ス)</p> <p>第四條 決闘ノ立會ヲ爲シ又ハ立會ヲ爲スヲ約シタル者ハ證人介添人等何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス(一月以上一年以下ノ重禁錮五回以上五十回以下ノ罰金)</p> <p>情ヲ知テ決闘ノ場所ヲ貸與シ又ハ供用セシメタル者(刑前項ニ同シ)</p> <p>第五條 決闘ノ挑ニ應セサルノ故ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者(刑法ニ照シテ誹毀ノ罪ヲ以テ論ス)</p>

著	法 護 保 民 移	法 匠
<p>第三十九條 第二十條及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セスシテ複製シタル者並ニ第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第二十一條 航行ノ許可ヲ受ケス又ハ航地ヲ許リテ許可ヲ受ケ又ハ渡航禁止命令ニ違反シテ渡航シタル移民ハ(五十圓以上五十圓以下ノ罰金)</p>	<p>金) 他人ノ登録意匠ヲ侵害スヘキ物品ナルヲ知リ之ヲ外國ヨリ輸入シタル者又ハ情ヲ知リテ其物品ヲ販賣シタル者(罰前項ニ同シ) 第十九條 詐偽ノ所爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケタル者又ハ登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其物品ヲ販賣シタル者(十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>
<p>第三十七條 偽作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ偽作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者(五十圓以上五百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第二十二條 法律命令ニ違反シタル移民ノ渡航ヲ周旋シ又ハ渡航禁止中ニ移民ヲ渡航セシメタル移民取扱人ハ(五十圓以上五百圓以下ノ罰金) 第二十四條 移民取扱人行政廳ノ許可ヲ受ケサル代理人チシテ其行爲ヲ爲サシメタルトキハ(二十圓以上二百圓以下ノ罰金) 其行爲ヲ爲シタル代理人亦同シ 第二十五條 第十一條、第十二條、第十三條、第十四條及第十六條第一項ニ違反シタル移民取扱人及代理人ハ(五十圓以上五百圓以下ノ罰金) 第二十六條 誘惑ノ手段ヲ以テ移民ヲ募集シ若ハ渡航ノ周旋ヲナシタル移民取扱人及代理人ハ(一月以上一年以下ノ重禁錮)</p>	<p>登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ヲ販賣スル爲メ廣告、看板、引札等ニ於テ其意匠ノ登録ヲ受ケタルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者ハ罰前項ニ同シ</p>

許	特	法 權 作
		<p>下ノ罰金) 第四十二條 虚偽ノ登録ヲ受ケタルモノ 十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>
		<p>第三十八條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者 三十圓以上三百圓以下ノ罰金) 第四十條 著作者ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者(三十圓以上五百圓以下ノ罰金) 第四十一條 著作權ノ消滅シタル著作物ト雖モ之ヲ改竄シテ著作者ノ意ヲ害シ又ハ其題號ヲ改メ若ハ著作者ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物ト詐稱シテ發行シタル者(二十圓以上二百圓以下ノ罰金) 第四十四條 誰人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證又ハ詐欺ノ鑑定ヲ爲シタル者ハ(一年以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金) 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐欺ノ鑑定ヲ爲サシメタル者(罰前項ニ同シ) 第四十五條 他人ノ特許品ヲ偽造シタル者又ハ情ヲ知リテ偽造特許品ヲ使用シ若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ特許方法ヲ窃用シタル者又ハ情ヲ知リテ其窃用シテ製造シタル物品ヲ使用若ハ販賣シタル者(十五日以上三年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金) 他人ノ特許ヲ侵害スヘキ物品ナルヲ知リ之ヲ外國ヨリ輸入シタル者又ハ情ヲ知リテ其輸入シタル物品ヲ使用シ若ハ販賣シタル者(罰前項ニ同シ) 第四十七條 詐偽ノ所爲ヲ以テ特許ヲ受ケタル者又</p>

法	商標
<p>ハ特許ヲ受ケサル物品ニ特許標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リ其物品ヲ販賣シタル者(十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ(十日以上三百圓以下ノ罰金))</p> <p>特許ヲ受ケサル物品ヲ販賣スル爲廣告、看板、引札等ニ於テ特許品タルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者(罰前項ニ同シ)</p> <p>第十五條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキハ(一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者ハ罰前項ニ同シ</p> <p>第十六條 他人ノ登録商標ナルヲ知リ其承諾ヲ經スシテ之ト同一又ハ類似ノ商標ヲ製造シ之ヲ交付若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ登録商標ト同一者ハ類似ノ商標ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ商品ヲ販賣シ又ハ販賣ノ爲メ所藏シタル者(一月以上二年以下ノ重禁錮二十圓以上五百圓以下ノ罰金)</p> <p>他人ノ登録商標ヲ有スル容器包裝等ナルヲ知リ之ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知リテ其商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者又ハ他人ノ登録商標ト同一者ハ類似ノ商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告看板、引札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ</p> <p>第十七條 詐偽ノ所爲ヲ以テ商標ノ登録ヲ受ケタル</p>	<p>者又ハ登録ヲ受ケサル商標ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其商品ヲ販賣ノ爲所藏シタル者(十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金)</p> <p>登録ヲ受ケスシテ登録商標又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ付シタル商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ</p> <p>第十五條 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ製作シ若ハ修理シテ販賣シタル者(二十圓以上三百圓以下ノ罰金)</p> <p>免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ販賣シ又ハ檢定ヲ受ケサル度量衡器ヲ販賣シ若ハ之ヲ營業ノ目的ニ使用シ及吏員ノ臨檢ヲ拒ミタル者(十圓以上二百圓以下ノ罰金)</p> <p>差在アル度量衡器ナルヲ知テ之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用シタル者亦前項ニ同シ</p> <p>第二十三條 第六條ヲ犯ス者ハ(十一日以上三月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十七條 風俗ヲ擾亂スル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作、發行者(十一日以上六月以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十八條 第十六條第十七條第十八條第二十一條ニ觸ル、文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作、發</p>

法	度量衡法	登記法	出
		<p>第三十六條 詐偽ノ所爲ヲ以テ登記料ヲ賦脫シ及之ニ通謀シタル者(二圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十二條 第三條ノ届出ヲ爲サスシテ文書圖畫ヲ出版シタル者(十圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十四條 發行者自己ノ氏名、住所又ハ發行ノ年月日又ハ印刷者ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其發行スル文書圖畫ニ記載セス其之ヲ記載スルモ實ヲ以テモサル者(二圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十五條 印刷者自己ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年</p>	
<p>者又ハ登録ヲ受ケサル商標ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其商品ヲ販賣ノ爲所藏シタル者(十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金)</p> <p>登録ヲ受ケスシテ登録商標又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ付シタル商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ</p> <p>第十五條 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ製作シ若ハ修理シテ販賣シタル者(二十圓以上三百圓以下ノ罰金)</p> <p>免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ販賣シ又ハ檢定ヲ受ケサル度量衡器ヲ販賣シ若ハ之ヲ營業ノ目的ニ使用シ及吏員ノ臨檢ヲ拒ミタル者(十圓以上二百圓以下ノ罰金)</p> <p>差在アル度量衡器ナルヲ知テ之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用シタル者亦前項ニ同シ</p> <p>第二十三條 第六條ヲ犯ス者ハ(十一日以上三月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十七條 風俗ヲ擾亂スル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作、發行者(十一日以上六月以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十八條 第十六條第十七條第十八條第二十一條ニ觸ル、文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作、發</p>			



法 版	法 舉 選 員 議 衆
<p>月日ヲ其印刷所ノ所ノ文書圖畫ニ記載セス若クハ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサルモノ(罰前項ニ同シ)</p> <p>住所ト印刷所ト同シカラサルトキ及ヒ印刷所ニシテ營業上慣行ノ名所アルトキ印刷所及名稱ヲ記載セサル者(亦前項ニ同シ)</p> <p>第二十七條 風俗ヲ壞亂スル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ(十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第八十九條 納税額年齡住所及其ノ他選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シ選舉人名簿ニ記載セラレタル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)</p> <p>第九十條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若ハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルヲ約束シタル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>其授與又ハ約束ヲ受ケタルモノ亦同シ</p> <p>(第二項) 其情ヲ知テ囂聚ニ應ジ勢ヲ助ケタル者(十五日以上二月以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第九十八條 武器又ハ兇器ヲ携帯シテ投票所若ハ選舉會場ニ入りタル者三圓以上三十圓以下ノ罰金</p> <p>第九十條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタル者及第十四條ニヨリ選舉人タルトナ得サル者投票ヲ爲シタルトキハ(四圓以上四十圓以下ノ罰金)</p> <p>第一百二條 立會人正當ノ事故ナクシテ此法律ニ規定</p>
<p>行者(十一日以上一年以下ノ輕禁錮)</p> <p>第十九條第二十條ニヨリ發賣頒布セザラシタル文書圖畫ヲ發賣頒布シタル者(罰前項ニ同シ)</p>	<p>第九十五條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スヲ抑止スルノ目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者(一月以上六月以下ノ輕禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>

法 採 砂 取	法 獵 狩	法 締 取 屋 質
<p>第二十二條 許可ヲ得スシテ採取ヲ爲シタル者又ハ詐ニ僞由リテ許可ヲ得タル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第二十條 第六條第一項ニ違背シテ狩獵ヲ爲シ又ハ第十四條ニ違背シテ乙種兎狀ヲ受ケタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第十九條ニ違背シテ免狀ヲ受ケタルモノ(七圓以上七十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十一條 第二條第一項、第三條、第四條第一乃至第六ニ違背シタル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十二條 第四條第七、第十二條第三項、第十七條第一項、第十八條ニ違背シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p>	<p>シタル事務ヲ關クトキハ(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十二條 左ニ掲ケル諸項ノ一ニ該當スル者(二圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 第十五條ノ場合ニ於テ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ故意ニ物品帳簿ヲ毀損亡失シタル者</li> <li>二 第一條ノ免許ヲ受ケスシテ營業ヲ爲シタル者</li> <li>三 禁止又ハ停止中營業ヲ爲シタル者</li> <li>四 第八條第一項及第十九條ニ違反シタル者</li> <li>五 第二十三條 第一條第二項、第二條、第三條、第四條、第五條第一項及第二項、第六條、第七條第一項、第十四條及第十七條ニ違反シタル者(二圓以上五十圓以下ノ罰金)</li> </ul>

豫戒令	徴兵令	徴發令	地租條例	銀行正徴
<p>第四條第三項 第二條第二號ノ違犯者(十一日以上二月以下ノ重禁錮)</p> <p>第四條第六項 第三條ノ違犯者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第七條 豫戒命令ヲ受ケタル者ヲ止宿又ハ同居セシムルモノハ二十四時間内ニ其旨ヲ所轄警察署ニ届出テ又所轄警察署ノ要求アルハ本令ノ施行ニ關スル事項ニ付事實ノ申立ヲ爲スヘシ若シ其届出チ忘リ又ハ不實ノ申立ヲ爲シタルトキハ(三圓以上百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲サル者及正當ノ事故ナク身体ノ検査ヲ受ケサル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第五十二條 後段其懈怠ニ出ルモノハ(二十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第二十五條 土地欺隱シ地租ヲ違脱スル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十六條 第十一條ヲ違犯スル者(二圓以上三十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第二十七條 横濱正金銀行ノ頭取取締役其他ノ役員ニシテ此條例ヲ犯シタル者五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第四條第四項 第二條第三號ノ違犯者(一月以上四月以下ノ重禁錮)</p> <p>第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潜匿シ若クハ身体ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐偽ノ所爲ヲ用ヒタル者(一年以上一年以下ノ重禁錮三個月以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第五十一條 徴發ヲ拒ミ或ハ忌避シ或ハ没リニ使役ヲ離レタルモノ及ヒ之ヲ唆誘導シタル者(一月以上一年以下ノ輕禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金)</p>

例條	國立銀行條例
<p>第十一條 創立證書、銀行定款ノ寫又ハ版本等(用意分配ノ手續了ルノ後)株主ヨリノ需要アルニ於テハ銀行ニ於テ定ムル所ノ代價ヲ以テ之ヲ付與スヘシ若シ銀行右付與ノ事ヲ怠慢スルニ於テハ銀行ハ其怠慢時間一日ニ付五圓ニ越ヘサル罰金ヲ納ムヘシ第六十三條 此條例ヲ違奉スル銀行若シ前條ノ如ク社號ヲ掲ケサルトキハ銀行ハ其時間一日ニ付五圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納ムヘシ其且頭取取締役及ヒ支配人タルモノ知テ之ヲ爲サシメ或故サラニ之ヲ見逃スニ於テハ是亦右區額ノ罰金ヲ納ムヘシ若シ又銀行ノ頭取取締役支配人其他ノ役員又ハ何人ニテモ前條ノ如ク彫刻セサル社印ヲ用ヒ或ハ人ナシテ之ヲ用非シメ又ハ前條ノ規定ニ悖リタル社印ヲ以テ報告書ヲ出シ或ハ之ヲ出サシメ又ハ爲替手形、約束手形、切手、證書、注文書、受取證書、受合狀等ニ至ル迄凡ソ其名號ヲ用ウル者前條ノ規定ニ悖リテ記名調印シ又ハ記名調印セシムルトキハ十圓ヨリ少カラス五十圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシメ</p> <p>第六十五條 此條例ヲ違奉スル銀行ハ其所有財產(動産、不動産ノ別ナク)ノ種類員數ハ勿論其授受買賣及ヒ質入借入委託其他ニ於ケル一切ノ事件ヲ記載セル簿冊ヲ製シ右等ノ簿冊アル毎トニ其事由並ニ其種類員數及質預リ人又ハ受託人等ヲ遺漏ナク記載シ其時々頭取取締役等之ニ檢印シ常ニ其銀行ニ</p>	<p>罰金)</p>

國 立 銀 行

備置キ以テ債主及株主等ノ檢閱ニ供スヘシ  
 若シ前項ノ記載ナクシテ銀行其所有財産ヲ貸入書  
 入シ又ハ之ヲ委託スル等ノ事アルニ當テ其銀行ノ  
 頭取取締役支那人等知テ之ヲ捨置キ又ハ故サラニ  
 之ヲ見逃スニ於テハ右役員ハ(五十圓ヲ踰サル罰  
 金)

第七十條 凡ソ格段議決ニ於テ確定シタル事件ハ其  
 旨趣頭末ヲ記載シタル書付ヲ刊行シ又ハ謄寫シテ  
 右確定ノ日ヨリ日數十五日(郵便遞送日數ヲ除ク)  
 ノ内ニ務メテ之ヲ紙幣頭ヘ差出シ其承認ヲ受クヘ  
 シ若シ銀行前段ノ書付ヲ右期日内ニ差出スルヲ怠  
 ルニ於テハ右ノ日數以後(即チ十六日ヨリ)ハ怠  
 慢時間一日ニ付十圓ヲ踰ヘサル罰金ヲ納ムヘシ  
 且頭取取締役等故サラニ之ヲサシメ又ハ知テ之  
 ヲ以テ過シシ時ハ是亦右合額ノ罰金ヲ納ムヘシ

第七十一條 凡ソ格段議決ニ於テ確定シタル事件ニ  
 シテ(此條例第四條第六條ニ準據目)現ニ之ヲ施行  
 スルモノハ右ノ事件ヲ正シク記載シタル寫ヲ各株  
 主ヘ分賦スヘシ若シ銀行此簡條ヲ遵守セズシテ詐  
 欺ヲ記載スルカ又ハ寫ヲ分賦セサルニ於テハ右寫  
 締通ニ付五圓ヲ踰ヘサル罰金ヲ納ムヘシ且頭取取  
 締役等故サラニ之ヲ爲サシメ又ハ知テ見逃セシ  
 トキハ是亦右同様ノ罰金ヲ納ムヘシ

七十二條 此條例ヲ遵奉スル銀行ノ營業時間中ナ  
 レハ何時ニテモ其銀行實際記入スル所ノ簿冊及報  
 告ヲ點檢スルヲ得ヘシ若シ銀行此簡條ヲ遵守セズ  
 シテ株主ノ點檢ヲ拒ムトキハ五圓ニ踰ヘサル罰金

業 鑛 例 條

ヲ納ムヘシ且頭取取締役支那人等故サラニ之ヲナ  
 スカ又ハ知リテ之ヲ見逃シシ時ハ右同様ノ罰金ヲ  
 納ムヘシ

第七十八條 右定例報告計表ノ外紙幣頭尙ホ要用ト  
 思考スルコトアルハ銀行ニ命ノ臨時ノ報告計表ヲ差  
 出サシムルコトアルヘシ若シ銀行ノ頭取取締役支  
 人等右定例或ハ臨時ノ報告ヲ怠リ紙幣頭ノ命スル  
 日ヨリ(郵便遞送日數ヲ除ク)ハ一日ニ付十五圓ヨ  
 リ少ナラカス百圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納ムヘシ

第八十六條 此條例ヲ遵奉スル銀行ノ頭取取締役支  
 配人其他ノ役員ハ社中合規則ノ規定ニ從ヒ尋常  
 借り得ヘキ全額ノ外ハ自身又ハ仲人等ヲ以テ一切  
 銀行ヨリ借受クヘカラス又其銀行ヨリ借財チナス  
 者ノ爲メ其誰人又ハ受人トナルヘカラス若シ右等  
 ノ役員右ノ規定ニ背戾シテ借財チナシ又ハ證人受  
 入トナリ又ハ人チシテ之ヲ爲サシメ又ハ之ヲ承諾  
 スル等ノ事アルトキハ此等ノ役員ハ十圓ヨリ少ナ  
 カラス五十圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納ムヘシ

第七十九條 認可ヲ得シテ試掘ヲ爲シタル者又ハ  
 詐欺ニ由リテ認可ヲ得タル者又ハ認可ノ期限ヲ過  
 キ尙ホ試掘ヲ爲シタルモノハ(十圓以上百圓以下  
 ノ罰金)

第八十條第二項 第三十一條第一項及ヒ第二項ヲ犯  
 シタル者、五圓以上五十圓以下ノ罰金)

第八十一條 第十條ヲ犯シタル者ハ其ノ贖得金ノ半  
 額ニ相當スル罰金

第七十七條 第廿四條第廿五條ヲ犯シタル者(二十  
 圓以上二百圓以下ノ罰金)

第七十八條 特許ヲ得シテ探掘ヲ爲シタル者又ハ  
 詐欺ニ由リテ特許ヲ得タル者(十五圓以上百五十  
 圓以下ノ罰金)

第八十條 第廿七條ヲ犯シタル者第五十九條ノ豫防  
 ニ着手セル者又ハ第六十二條但書ノ規定ヲ犯シタ  
 ル者(十五圓以上百五十圓以下ノ罰金)

例 條	新 聞 紙 條 例
<p>第八十二條 第十一條ノ販賣代價ヲ隠匿シタル者ハ其隠匿シタル金額ノ半額ニ相當スル罰金ニ處ス</p> <p>第八十三條 第三十九條ニヨリ届出ヘキ事項ヲ偽テ通知シタル者ハ其通知金額ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス其通知ニ關セサル事項ニ係ルモノハ(二圓以下ノ罰金)</p> <p>第八十四條 第四十條ノ帳簿ヲ調査セス若クハ記載ヲ怠リ若ハ詐ヲ記載シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第八十五條 第六十四條第二項第六十九條及ヒ第七十二條ヲ犯シタル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第二十八條 第十三條第十四條第十五條ニ違フトキハ編輯人ヲ罰金以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十九條第一項 第一條第二條第四條ノ届出ヲ爲サス又ハ第六條第七條第十一條第十二條ノ事項ヲ又ハ保證金ヲ納ムヘキ新聞紙ニシテ保證金ヲ納メズシテ發行シタルトキハ發行人(五圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>但し詐稱ノ罪ヲ犯ス者ハ罰發行人ニ同シ</p>
<p>第二十七條第二項 第一條第三條第四條ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサルトキハ發行人(一月以上六月以下ノ輕禁錮)</p> <p>第二十七條第三項 第八條ノ末項ニ屬スル新聞紙ニシテ保證金ヲ納ムヘキ新聞紙ノ事項ヲ記載シタル編輯人又同シ</p> <p>第二十九條 第十六條第十七條第十八條ニ違フトキハ編輯人(一月以上六月以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金)</p> <p>第三十條 第三十一條ノ禁令ヲ犯シ發賣頒布ヲ爲ス者ハ罰金ニ同シ</p> <p>第三十一條 第三十二條ノ禁令ヲ犯シタル發行人編輯人(一月以上二圓以下ノ重禁錮)</p> <p>第三十二條ノ二 第三十三條ノ停止ヲ犯ストキハ發行人編輯人ヲ(廿圓以上五百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第三十三條 社會ノ秩序又ハ風俗ヲ擾亂スル事項ヲ記載シタルトキハ發行</p> <p>第三十三條 其點標ヲ移轉シ若クハ毀壞シタル者(一月以上一年以下ノ重禁錮)</p>

賣 藥 規 則	測 量 規 則
<p>第二十條 無鑑札又ハ鑑札ヲ借受ケ又ハ白ラ行商シ又ハ行商セシムル者及ヒ之ヲ貸ス者(又ハ期限前タル鑑札ヲ以テ白ラ行商シ又ハ行商セシムル者)ハ其鑑札ヲ取上ケ藥劑一方ニ付(五圓ノ罰金)</p> <p>第二十一條 無鑑札又ハ鑑札ヲ借受ケ(又ハ期限過キタル鑑札ヲ以テ請賣スル者)及ヒ無鑑札ノ者ヲシテ請賣セシメ又ハ鑑札ヲ貸スモノハ其鑑札ヲ取上ケ製藥ヲ沒收シ藥劑一方ニ付(十圓ノ罰金)</p> <p>第二十二條 免許ヲ受ケテ私ニ選石分量用法服量能書等ヲ改更シ又ハ許可ヲ無シテ無稽ノ妄説ヲ記載シ世人ヲ迷惑スル者ハ其鑑札ヲ取上ケ製藥ヲ沒收シ藥劑一方ニ付(十圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十三條 無鑑札ニテ製藥スル者又ハ營業者ニシテ私ニ請賣者製劑ヲ調製セシムル者又ハ請賣者自ラ之ヲ調製スル者ハ其製藥及賣得金ヲ沒收シ藥劑一方ニ付(二十五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十五條 諸鑑札ヲ製造シ又ハ他人ノ賣藥ヲ製造シテ發賣スル者ハ其製藥及ヒ其賣得金ヲ沒收シ藥劑一方ニ付(五十圓以上百圓以下ノ罰金)</p>	<p>第六條 測標ヲ移轉シ若クハ毀壞シタル者(二圓以上廿圓以下ノ罰金)</p>
	<p>第三十三條 社會ノ秩序又ハ風俗ヲ擾亂スル事項ヲ記載シタルトキハ發行</p> <p>第三十三條 其點標ヲ移轉シ若クハ毀壞シタル者(一月以上一年以下ノ重禁錮)</p>

則規稅紙印藥賣	則入酒內府東 規輸清區京	則取品營藥 規取品營藥
<p>第五條後段 印紙不足ノ藥品ヲ發賣シタル者(二圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第六條 請賣者行商者ニシテ無印紙ノ藥品ヲ所持シ若ハ之ヲ販賣シタル者(二圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>印紙不足ノ藥品ヲ所持シ若ハ之ヲ販賣シタル者(二圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第七條 貼用印紙ニ消印セサル者(二圓以上十圓以下ノ罰金)</p> <p>第八條 印紙賣捌所ノ外ニ於テ印紙ヲ賣捌ク者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>其情ヲ知リテ之ヲ買受ケタル者(二圓以上十圓以下ノ罰金)</p> <p>第九條 清酒輸入者ニシテ東京市區改正條例第三條第四項ノ税金ヲ遺脱シタルトキハ其税金ニ相當スル金額三倍ノ罰金</p>	<p>第三十九條 官許ヲ得スシテ藥劑師ノ業ヲ爲シタル者又ハ第十六條第十八條第二十二條第二十五條第二十六條第二十七條第三十條第一項ニ違背シタル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第四十條 第十一條第十四條第一項第十七條第十九條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條ニ違背シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第八十九條 納稅額年離住所其他選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シ選舉人名簿ニ記載セラレタル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第九十二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スヲ抑止スルノ目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者(十五日以上三月以下ノ輕禁錮二圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第九十四條後段 其情ヲ知リ囑集ニ應ジタル者(一月以上六月以下ノ輕禁錮)</p>

衆議院議員選舉法	
<p>第九條 免狀ヲ受ケスシテ職工ノ業ヲ爲シタル者(二圓以上二十五圓以下ノ罰金)</p> <p>第十三條 第十二條ヲ犯シタル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第十條 免狀ヲ受ケスシテ職工ノ業ヲ爲シタル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第九十一條 直接又ハ間接ニ金錢物品ヲ授與シ又ハ授與スルヲ約束シテ投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スヲ抑止シタル者ハ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス又ハ約束ヲ受ケテ投票ヲ爲シ又ハ投票ヲ爲サル者モ亦同シ</p> <p>第九十八條 武器又ハ兇器ヲ携帯シ選舉會場ニ入りタル者(二圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第一百條 選舉權ナク又ハ他人ノ氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲サントシ又ハ投票ヲ爲シタル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)</p>

神戶縣酒類出港則施行細則	鑛業條例施行細則
<p>第十一條 獸醫停止中其藥ヲ爲シタル者(二圓以上二十五圓以下ノ罰金)</p> <p>第五條 出港禁止中其酒類ヲ出港シ若クハ出港シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第五十四條 左ノ場合ニ於テハ鑛業人ヲ(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>一 坑内實働圖ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ</p> <p>二 第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニヨリテ書類又ハ圖面ノ差出テ命セラレタル場合ニ於テ指定ノ期日マテニ之ヲ差出ササルトキ</p> <p>三 第二十八條ノ規定ニ違反シテ立會ヲ爲サヌ又ハ調査事項ノ説明ヲ爲サルトキ</p> <p>四 第三十八條ノ書類又ハ圖面ヲ備ヘ置カサルトキ</p> <p>五 第三十六條第四條第四十三條第四十八條第四十九條第五十一條第六十條又ハ鑛業條例第三十九條規定ニ違反シテ差出テ爲サルトキ</p>
	<p>第九條 左ノ場合ニ於テハ採取人ヲ(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p>

神戶縣酒類出港則	北海鹽稅則	砂鑛採取法施行細則	醬油
<p>第七條 第四條ノ差出ヲ爲サ、ル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第八條 主任官吏ノ検査ヲ拒ム者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第十三條 第八條ノ組合ニ加入セスシテ水産物ノ營業ヲ爲シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第十八條 第十六條ノ營業人ニシテ其水産物ノ出產高ヲ偽リ進稅シタル者ハ其進稅高三倍ノ罰金</p>	<p>四以下ノ罰金)</p> <p>一 第六條ノ手續ヲ爲サ、ルトキ</p> <p>二 鑛業條例施行細則第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ準シテ差出スヘキ書類又ハ圖面ヲ指定ノ期日迄ニ差出サ、ルトキ</p> <p>三 鑛業條例施行細則第二十八條ノ規定ニ準シテ爲スヘキ立會ヲ爲サヌ又ハ調査事項ノ説明ヲ爲サ、ルトキ</p> <p>四 鑛業條例施行細則第四十八條第四十九條又ハ第六十條ノ規定ニ準シテ差出テ爲サ、ルトキ</p>	<p>第十九條 第一條第二項ニ該當セサルモノニシテ免許ヲ受ケス醬油ヲ製造シタル者(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十條 醬油製造人ニシテ醬油ヲ隠蔽シタル者ハ其石數ニ相當セル造石稅三倍ノ罰金</p> <p>第十條第十四條第二項ヲ犯シタル者ハ罰前項ニ全シ</p>

衆議院議員選		稅則	
<p>第三條 第一條ニ違背シタル者(二圓以上二十五圓以下ノ罰金)</p> <p>第一條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ選舉會場又ハ投票所ノ近傍若クハ選舉人往來ノ途中ニ於テ深聲人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場若クハ投票所ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シ及其供給ヲ受ケタル者又ハ選舉人ノ爲ニ深聲會場若クハ投票所ニ往復スル車馬又ハ路費若クハ休泊料ノ類ヲ代辨シ又ハ代辨スルコトヲ約束シ及其代辨又ハ約束ヲ受ケタル者ハ衆議院議員選舉法第九十條ノ例ニ依リ處断ス</p> <p>第三條 被選人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被選人人</p>	<p>第二十一條 第五條第六條ノ査定ヲ受ケサル者第八條第九條第十六條ヲ犯シタル者第十五條ノ申告ヲ爲セザル者及脱稅ヲ謀ル爲メ帳簿ノ記載ヲ詐リタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十二條 第六條ノ検査ヲ受ケサル者及帳簿ノ記載ヲ忘リタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第二十三條 第一條第二項ニ該當スル者一石ヲ越エテ甜味ヲ仕込ミ又ハ油ヲ製成シタルトキハ(五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p> <p>第四條 前條各項ニ違背シタル者(二圓以上二十五圓以下ノ罰金)若クハ(十一日以上二十五日以下ノ輕禁罰)</p>	<p>第二十三條 九月法律第八十三號 明治二十三年法律第二號ニ依リ海軍大臣定ムル所ノ軍港規則ニ違ヒタル者(十一日以上一年以下ノ重禁罰)</p>	<p>第四條 選舉會場又ハ投票所所在ノ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル爲多數黨集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鑼鼓法螺喇叭類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用ル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受ケルモ仍其命ニ從ハサル者(十五日以上三月以下ノ輕禁罰五圓以上五十圓以下ノ罰金)</p>

舉法		市	
<p>第五條 第一條ニ記載シタル目的ヲ以テ報札ノ類ヲ公然掲示シタル者(二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第一條第二項 其疎虞懈怠ニ因ル者ハ電信條例第五十九條第二項ニ照シテ處断ス</p> <p>第二條 疎虞懈怠ニ因リ海底電信線ヲ切斷損壞シタル者ハ其船舶ノ初テ到着シタル地ノ管轄廳(外國ニ於テハ其地駐在ノ領事館)ニ二十四時以内ニ届出ツヘシ之ヲ差出サル者(十圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第三條 自己ノ生命或ハ船舶ヲ保護スル爲メバムヲ得シテ海底電信線ヲ切斷損壞シタル者亦前條ニ依テ届出サル者(二圓以上十圓以下ノ罰金)</p> <p>第四條 條約第五條第一項第二項第三項及第六條ヲ犯シタル者(五圓以上百圓以下ノ罰金)</p> <p>第五條 條約第十條ニヨリ書類ヲ見ント要求スルトキ之ヲ示スコトヲ拒ミタル者(四圓以上四十圓以下ノ罰金)</p>	<p>第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者(十五日以上三年以下ノ輕禁罰二圓以上二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ強迫シ撈引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐偽ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ第六條</p>	<p>第四條第二項 條約第五條第一項ヲ犯シ因テ他ノ船舶ヲシテ海底電信線ヲ切斷損壞ニ至ラシメタル電信線ノ船長ハ一等ヲ加フ</p>	<p>第一條 凡テ選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者(二圓以上二十四圓以下ノ罰金)</p> <p>第二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ</p>

町 村 會 議 員 選 舉

他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務ヲ濫用スルニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)

其授與又ハ約束ヲ受ケタル者亦全シ

第三條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉會場ノ近傍若クハ選舉人往來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シタル者ハ第二條物品授與ノ例ニ依リ處断ス

其供給ヲ受ケタル者亦同シ

第四條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ノ爲ニ選舉會場ニ往復スル車馬又ハ路費若クハ宿泊料ノ類ヲ代辦シ又ハ代辦スルコトヲ約束シタル者ハ第二條金錢授與ノ例ニ依リ處断ス

第九條第二項 其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金)

第十三條 選舉會場所在ノ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ毀ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ箒火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旌幟其他ノ標章ヲ用ル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受ルモ仍其命ニ従ハサル者(十五日以上二月以下ノ輕禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金)

第十四條 被選人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被選人タルコトヲ得ヌ又ハ當選ヲ承諾スルノ意ナシトノ虚報ヲ流傳セシメタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)

條舉行ノ例ニ依リ處断ス

第十一條第二項 其情ヲ知り嘯聚シニ應タル者(十五日以上六月以下ノ輕禁錮)

罰則	銃砲火器 銃砲火器 銃砲火器	爆發物 炸藥 炸藥	古物 古物 古物	古物 古物 古物	古物 古物 古物	
第十五條 或器又ハ兇器ヲ携帯シテ選舉會場ニ入りタル者(三圓以上三十圓以下ノ罰金)	第十六條 第五條又ハ第六條ノ許可ヲ受ケヌシテ營業ヲ爲シタル者及第九條ノ停止命令ニ違背シテ營業ヲ爲シタル者ハ(五圓以上五十圓以下)	第十七條 第十條及第十一條ニ違背シタル者ハ(三圓以上二十圓以下)	第七條 爆發物ヲ行見シタル者ハ直ニ警察官吏ニ告知ス可シ違フ者ハ(五圓以上五十圓以下)	第十九條 左ニ掲ケル諸項ノ一ニ該當スルモノハ(二圓以上百圓以下) (二三項共々)	第二十條 第三條第四條第六條第七條第八條第十條第十一條及第十二條ニ違犯シタル者ハ(二圓以上五十圓以下)	第三條 第四條第一項第五條第八條第九條第十一條第十二條及第十三條ニ違背シタル者ハ(二圓以上十圓以下)
第十五條 第十三條第一項ノ命令ニ違背シタル者ハ(一月以上一年以下ノ重禁錮又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金)						



法物失遺	法護看者病神精	法救難水	法收徵稅國
<p>第十七條 左ニ掲クル者ハ二月以下ノ重禁錮ニ處シ 二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ百圓以下ノ罰金ニ 處ス但シ監置又ハ拘束ノ日數十日ヲ過クル毎ニ一 等ヲ加フ (一一三號署ス)</p> <p>第十八條 左ニ掲クル者ハ一月以下ノ重禁錮ニ處シ 十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ五十圓以下ノ罰金ニ 處ス (一一三號署ス)</p> <p>第十九條 左ニ掲クル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス (一一三號署ス)</p>	<p>第三十一條 遭難船舶救護ノ場合ニ於テ左ノ各號ニ 該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス (一一三號署ス)</p> <p>第三十三條 第十條第一項ノ手續ヲ爲スコトヲ怠リ タル者ハ(五圓以上五十圓以下) 第三十五條ノ二 漂流ノ物件ニ對シ現存スル記號ヲ 塗抹毀損若ハ新ニ附記押捺シタル者ハ(二圓以上 二十圓以下)</p>	<p>第三十二條 遭難船舶救護ノ場合ニ於テ妨害ヲ爲シ タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓 以下ノ罰金ヲ附加ス</p> <p>第三十四條 詐偽ノ所爲ヲ以テ船舶報告書ニ認證ヲ 受ケタル者ハ十一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ 又ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス</p> <p>第三十二條 滯納者又ハ滯納者ノ財産ヲ占有スル者 其ノ財産ヲ隠匿脱漏シ又ハ虚偽ノ契約ヲ爲シタル 者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス 差押物件ノ保管者其ノ保管ニ係ル物件ヲ隠匿脱漏 費消若ハ故意ニ毀損シタルトキ亦同シ</p>	<p>第十六條 拾得物其他不法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ 隠匿シ若ハ不正ニ處分シタル者ハ(三月以下ノ重 禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金)</p> <p>第十六條 左ニ掲クル者ハ(二年以下ノ重禁錮ニ處 シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス) (一一三號署ス)</p>

### 第參編 違警罪即決處分

#### 第一章 總論

即決處分ノ性質

違警罪即決例ハ明治十八年九月第三十一號布告ヲ以テ發布セラレ今尙施行  
セラル、モノニシテ拘留又ハ科料ニ該ル犯人アルトキニ當リ警察官ガ之ニ  
對シテ即決處分ヲナスニツキテノ權限賦與規定タルト同時ニ手續規定タリ  
警察官ガ違警罪ニ對シ拘留又ハ科料ノ即決處分ヲナスノ權限ヲ有スルハ此  
ノ布告ニ基因スルモノニシテ警察權ニ固有スル當然ノ權限トシテ有スルニ  
アラザルナリ即決處分ハ人民ノ身体ヲ拘束シ又ハ財産ヲ押奪スル權力作用  
ナルヲ以テ一見警察官ハ司法裁判ノ一部ヲ掌ルガ如シト雖ドモ司法權ハ法  
律ニ依リテ構成セラレタル裁判所之ヲ行フモノタルコトガ我憲法ノ規定ナ  
ルヲ以テ命令ノ設備ニ依レル行政官タル警察官ガ之ヲ行フ可カラザルハ余  
ヲ待タズシテ知ルベキナリ即決處分ハ實質ニ於テハ司法裁判ノ性質ヲ有ス  
ト雖ドモ而カモ形式ニ於テハ一種ノ行政處分ナリ換言スレバ處罰ヲ實質ト

セル警察處分タリ人或ハ違警罪即決處分ヲ呼ブニ違警罪即決裁判ナル名稱ヲ以テスルハ蓋シ實質的意義ニ於テ爾カ云フモノニシテ決シテ法律上ノ性質ガ裁判ナリト謂フモノニアラザルベシモシ之ニ反シテ違警罪即決裁判ノ意義ヲ以テ一種ノ司法裁判ナリト云フニアラシメバ抑モ違警罪即決處分ノ性質ヲ誤解セルノ甚シキモノト謂ハザル可カラズ而カモ違警罪即決處分ヲ以テ司法裁判ノ一種ナリトスルノ論者世間亦少ナキニアラザルヲ以テ後段聊カ之ニツキ駁論スル所アルベシ

違警罪即決處分ハ實質ニ於テハ裁判ナリ裁判トハ國家ガ特定ノ場合ニ於テ何ガ國法デアルカヲ判定スル權力ノ作用ナリ司法裁判ト云フモ行政處分ト云フモ皆等シク特定ノ事件ニツキ國法ノ定ムル所ハ何デアルカヲ具體的ニ決定スル國家ノ働タルニ過ギズ是レ廣義ニ於ケル裁判ノ意義ナリ現今普通ニ裁判ト謂フハ狹義ニ於ケル裁判ニシテ平等ノ人ガ正否曲直ヲ爭フ際ニアリテ國家ガ第三者トナリ何ガ國法デアルカヲ決定スル働ヲ云フナリ而シテ違警罪即決處分ハ刑事ニ於ケル司法裁判ト同ジク罰ノ程度ニ於テ大小輕重

處分ノ意義

ハ之アリト云ヘ人民ノ身体ヲ拘束シ又ハ財産ヲ押奪スルモノタリ故ニ違警罪即決處分ハ廣義ニ於ケル裁判ノ性質ヲ有スルト同時ニ狹義ニ於ケル裁判ノ性質ヲ實質トセルモノタルナリ

違警罪即決處分ハ形式ニ於テ一種ノ行政處分タリ憲法第五十七條ハ司法權ヲ行フノ機關ハ法律ニ依リテ構成セラレタル裁判所ナルコトヲ規定セリ司法權ハ裁判所ト云フ唯一ノ機關ニヨリテ行ハル、モノニシテ裁判所ヲ經由スルニアラザレバ司法權ノ活動ナシ故ニタトヒ行政官タル警察官ガ司法裁判ノ實ヲ行フト雖ドモ司法權ノ行使ナリト謂フ能ハザルナリ是ニ於テ余ハ斷論ス違警罪即決處分ハ裁判ヲ實質トセル警察處分ナリト

凡ソ處分トハ特定ノ人又ハ團體ニ對スル權力ノ行為タリ處分ノ實質ハ命令權ノ活動ニシテ特定ノモノニ對シ特定ノ場合ニ特定ノ行為ヲ命ジ又ハ禁ズルモノタリ處分ハ法令ニ依準シテ之ヲナスコトアリ又ハ便宜裁量ニヨリテ之ヲナスコトアリ共ニ命令權ノ活動ナリ然レドモ命令權ノ活動ナリト云フトキハ尙漠然トシテ其意味ヲ捕捉シ難キ嫌アリ處分ハ換言スレバ權力ノ作

用ニシテ服従者ニ對スル強制ノ働タリ直接ニ國權ヲ願ハシテ服従者ニ働キカクルモノニシテ當事者タルモノハ權力者ト服従者即チ國家ト臣民トナリ而シテ特定ノ場合ニ特定ノ人ニ對シ出願シ其特定ノ事件ト共ニ消滅スルモノタリ處分ノ意義大凡上ノ如シ既ニ然ラバ立法機關ニモ行政機關ニモ將タ司法機關ニモ之アリト謂フベシ立法機關ニアリテハ或ハ議院又ハ委員會ニ於テ誹毀侮辱ヲナシタル議員ノ議院内ニ於テ處分セララル、如キ、或ハ各委員會又ハ各部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ委員長又ハ部長ハ之ヲ議長ニ報告シ處分スルガ如キ或ハ秘密會ヲ開クトキニハ直チニ傍聽人ヲ退去ニシムル如キ皆處分タリ又司法機關ニアリテハ或ハ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ謹守シ悔改ノ狀アルトキハ其刑期四分ノ三ヲ經過スルノ後假ニ出獄ヲ許スガ如キ或ハ監視ニ附セラレタル者其情狀ニ因リ假ニ監視ヲ免ズルガ如キ或ハ裁判長ガ審問ヲ妨グル者又ハ不當ノ行狀ヲ爲ス者ヲ法庭ヨリ退ガシムルガ如キ皆處分タルニ外ナラズ然レドモ二機關ニ於ケル處分ハ其範圍極メテ少ニシテ論ズルノ事亦少ナシト雖ドモ行政機關ニ於ケル處分ノ如キ

判決ト處分

實ニ運用ノ廣キモノニシテ説論極メテ多キ所ノモノタリ何ヲ以テ謂フ凡テ行政機關ノ行爲ハ事實的行爲ヲ除ク外皆命令處分ノ行爲ニシテ就中處分行爲タルカ一舉手一投足ノ間ニ續乎トシテ起ルモノタレバナリ處分ハ機關ニヨリテ區別スルトキハ立法機關ノ處分司法機關ノ處分行政機關ノ處分是ナリ而シテ尙之ヲ法令ニ依準スルモノト裁量ニ出ヅルモノトニヨリテ區別スルトキハ二種アリ曰ク依法處分職權處分是ナリ司法裁判ノ判決ハ法ニ依準スル司法權ノ作用ニシテ法ニ依ル處分ト何等ノ徑庭ヲ見ザルガ如キモ依法處分ト判決トハ劃然タル區別ナカル可カラズ元ヨリ依法處分ナル語ヲ廣義ニ用ユルトキハ處分ガ廣義ニ於ケル裁判ト謂フガ如ク其中ニ判決ヲモ含畜セシムルモ敢テ不可タルコトヲ見ズト雖ドモ苟クモ狹義ニ依法處分ナル語ヲ解スルトキハ決シテ判決ヲ其中ニ包含セシム可カラザルナリ矧チ我憲法ヲ見ルニ處分ナル文字ヲ用ユル規定少ナカラズ又一定ノ意義ヲ有セズト雖ドモ判決ト區別スルアルガ如シ(二十七條公益ノ爲必要ナル處分六十一條行政官廳ノ違法處分七十條財政上必要ノ處分)要ス

ルニ處分ハ命令權直接ノ作用ニシテ特定ノ人又ハ團體ニ對シ直接ニ活動スルモノニシテ民事刑事ニ於ケル裁判ノ如ク一定ノ形式ヲ踏ムコトナク又當事者ノ參加ナクシテ有權的ノ行為ガ執行セラレ、モノタリ之ニ反シテ判決ハ法律ニ定メル形式ヲ踏ミ當事者ノ參加ヲナスコトガ要件タル權力ノ作用タリ是ニ依リテ之ヲ觀ルニ處分ト判決トノ重大ナル差異ハ形式ニアリ處分ハ行政機關ヲ經由スルコトガ形式ニシテ其他依準スベキ形式アルコトナシ判決ハ組織構成ガ法律ニヨリテ定マレル裁判機關ヲ經由スルコトヲ要件トスルノミナラズ全般ノ作用皆法律ニ定レル形式ヲ踏マザルモノタリ今違警罪即決ノ言渡ヲ見ルニ司法裁判ニ於ケルガ如ク原告官タル檢事ノ如キ嚴格ナル當事者ノ參加ヲ以テ敢テ一定ノ要件トナサズ其他法律上何等ノ形式ヲ踏ムコトヲ要セズ行政官タル警察官ノ自由ナル手續方法ヲ以テナシ得ベキ處分タリ或ハ應接所ニ於テ言渡スモ或ハ事務室ニ於テ言渡スモ苟クモ責任アル警察官ガ之ヲ言渡セバ毫モ不當タリ違法タルコトハナキモノタリ故ニ余ハ違警罪即決ノ言渡ヲ以テ全然司法裁判ト區別シ行政處分トナスナリ然レ

判決ニ對スル駁論

ドモ違警罪即決處分ノ性質タルヤ頗ル曖昧ナルモノニシテ其救済ノ方法トシテ正式ノ裁判ヲ以テシ及ビ刑法ノ規定ヲ或ル場合ニ適用スルガ如キニ至リテハ大ニ誤惑ヲ生ゼザルナキ能ハズ余ハ即決ノ言渡ニ對シ正式裁判ヲ區別裁判所ニ求メ又ハ刑法ノ規定ヲ適用スル場合アルヲ見テ早計ニ之ヲ以テ判決ナリ司法裁判ナリト謂フコトヲ敢テスル勇氣ハナキナリ

違警罪即決處分ヲ以テ判決ナリ司法裁判ナリト云フ人ハ法律ノ効力アル第三十一號布告ガ司法權ノ一部ヲ警察官ニ委任シタリトシ其委任ニヨリテ警察官ガ司法權ノ一部ヲ行フトキ即決ノ言渡ヲナストキハ其處分ガ判決ナリ司法裁判ナリトスルモノタリ委任ニヨリテ司法權ヲ行フトハ頗ル巧妙ナル解釋ノ如ク聞ユト雖ドモ違警罪即決例ハ行政官タル警察官ノ違警罪犯人ニ對スル處分方法ヲ定メタルモノニシテ司法權ヲ委任シタルモノニアラズヨシ立法者ノ意思ハ其初メ司法權一部ノ委任ニアリタハヤ知ル可カラズト雖ドモ憲法ハ決シテ司法權ヲ行政官ニ委任シテ行ハシムルコトヲ許サハルモノタリ憲法ハ明言シテ曰ク司法權ハ裁判所之ヲ行フト而カモ一モ例外

ヲ認メザル精神タリ若シ夫レ明治十八年第三十一號布告ガ司法權ノ委任ナ  
ラシ乎明カニ憲法ノ規定ニ抵觸スルモノニシテ廢法タルヲ免レズ而シテ尙  
今日該布告ガ施行セラル、アルハ是司法權ノ委任ニアラズシテ處罰ヲ實質  
トスル行政處分ヲナスコトヲ警察官ニ囑託シタルモノタラズバアル可カラ  
ズ人或ハ行政裁判ノ如キ行政官ヲシテ裁判ヲ司ラシムルニアラズヤト反問  
スルモノアルベシ是レ一端ヲ擧ゲテ全般ヲ通觀セザル迂論ニシテ行政裁判  
所ナルモノガ法律ニヨリテ設備セラル、コトヲ忘レタルモノナリ若シ單純  
ナル行政官ガ訴ヲ受ケ之ヲ裁判判決スルモノナラバ是レ司法權ヲ蹂躪スル  
モノニシテ立憲制ノ精神ヲ賊スルモノタリ行政ハ法律ヲ執行シ公共ノ安寧  
秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ便宜ノ處理ヲナスモノニシテ司法ハ權利ノ侵  
害ニ對シ法律ノ規準ニヨリ之ヲ判斷スルモノタリ違警罪法規タルヤ元警察  
ノ規則ニシテ社會ノ便宜ト必要ヨリ立法セラレタルモノナリ此ノ法ニヨリ  
警察官ガ之ヲ強行スルニ處罰ノ形式ヲ用ユルニ於テ何ゾ司法權ヲ行フモノ  
ト謂フコトヲ得ベケンヤ若シ行政官ニ司法權ヲ委任シ得ルトセバ是レ古ノ

專制政治ニ復歸スルモノニシテ立法司法行政ノ三機關ヲ設備シテ國權ヲ行  
ハシムル憲法ノ主旨ニ背反スルモノニアラズシテ何ゾヤ違警罪即決ノ言渡  
ヲ以テ司法裁判ナリトスル人ノ第二ノ根據ハ即決ノ言渡ニ對スル救濟ノ方  
法ガ正式裁判ナルニアリ若シ即決ノ言渡ガ純粹ナル行政處分ナラバ其救濟  
ノ方法トシテハ訴願又ハ訴訟ニヨルベキモノタルニ特ニ救濟ノ方法ヲ正式  
裁判ニ致シタル如キ即決ノ言渡ガ行政處分ニアラズシテ司法裁判タルコト  
ヲ證スルモノタリト云フニアリ余ハ元ヨリ即決ノ言渡ヲ救濟スルニハ訴願  
又ハ訴訟ニヨラシムルコトヲ正當トスルモノナレドモ今日ノ實際ニ於テハ  
違警罪犯人モ檢事ガ直接ニ訴追スルトキハ即決處分ヲ經ズシテ區裁判所之  
ヲ裁判スルヲ以テ完畢スルニ違警罪管轄官應ニツアルナリ警察官ニシテ其  
犯罪ヲ檢事ヨリ先キニ檢舉スルトキハ之ヲ警察處分トシテ決定スルモノタ  
リ斯カル次第ナルヲ以テ便宜上其救濟ヲ司法裁判所ニ委託スルモノタルニ  
外ナラズ而シテ又正式裁判ヲ受クルト云フトキハ宛モ警察處分即決ノ  
言渡ガ畧式裁判ノ觀アリト雖ドモ決シテ然ル意味ニアラズ單ニ司法裁判所

ノ裁判ヲ受クルト云フニ過ギザルナリ

### 第二章 違警罪

違警罪犯ニ對シテハ警察官檢察事ヨリ先ニ之ヲ認知シタルトキハ即決ノ處分ヲナサザル可カラズ故ニ違警罪トハ如何ナル者違警罪ニ關スル刑法ノ規定ハ如何ナルヤ等ヲ研究スルノ必要ナキニアラズ然レドモ其詳シキハ刑法ノ研究ニ屬スルヲ以テ茲ニ其大体ニツキ論及スル所アラントス

違警罪規則ノ性質

違警罪ニ關スル規定ハ警察ノ規則ナリ違警ノモノヲ罰スルノ法規ナリ故ニ重輕罪ノ罪質ヨリ大ニ異ルモノアルナリ凡テ重輕罪ノ如キハ其主旨社會ニ害ヲ加ヘ且ツ道德ノ違背スルモノヲ罰シ刑ノ程度モ加害ト背德ノ程度ニ正比例ヲナシテ或ハ輕ク或ハ重カラシメタリ違警罪ニアリテハ社會ノ必要特ニ地方ノ利益ノ爲メニ規定スルモノニシテ將ニ生ゼントスル危害ヲ豫防スルモノ多シ例ヘバ規則ヲ遵守セズシテ火藥破裂質又ハ發火質ノ物品ヲ運搬シ又ハ之ヲ貯藏スルモノ人家等ノ近傍ニ於テ濫リニ火ヲ焚キ通路ノ危險ナ

違警罪規則ノ特色

ル井溝ニ防圍ヲ爲サザル如キ等ノ所爲ヲ罰スルハ皆社會ノ公ノ危害ヲ豫防スルニ出ズンバアル可カラズ違警罪規則ハ社會ノ安寧秩序ヲ維持シ幸福ト利益ヲ保護スルガ爲メニ人ノ自由ヲ制限スルノ行政法規ニシテ之ニ違背スルモノヲ處罰スルノ準則タリ換言スレバ一方ニ於テハ警察規則ニシテ一方ニ於テハ刑罰法規タリ我刑法ニ於テ第四百二十五條以下ニ於テ違警罪規則ヲ列記スルハ抑モ其編成ノ体ヲ失フタルモノト謂ハズンバアル可カラズ違警罪ハ其本質ニ於テハ違警ノ罪犯ニシテ其規則ハ行政ノ法規ナルヲ以テ從テ一般重輕罪ト其規定ヲ異ニセザル可カラズ刑法ハ其總則ニ於テ違警罪ニ付テハ特ニ一般重輕罪ト區別スル所アリ今左ニ之ヲ掲ゲン

一、附加刑違警罪ニハ沒收ヲノミ適用スベキモノタリ然レドモ實際ニ於テハ沒收ヲナサザルコト多シ例ヘバ公園ニ馬車ヲ驅リ入レタルトキニ馬車ヲ沒收スルコトナキガ如シ

二、違警罪ハ滿十六才以上二十才ニ滿ザル者ト雖ドモ其罪ヲ宥恕セズ滿十二才以上十六才ニ滿ザル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ズ十二才ニ滿

ザル者及ビ瘡腫者ハ其罪ヲ論セズ學者或ハ違警罪ハ犯意ナシト雖ドモ尙之ヲ罰スベキモノナリト云ヘドモ余ハ之ニ同意ヲ表スル能ハズ何トナレバ特ニ犯意ナシト雖ドモ之ヲ處罰ストノ規定ナケレバナリ人ヲ毆打シテ傷ヲナサルトキノ如キ若シ毆打スルノ意思ナク偶然人ヲ毆打シタルトキハ罰スベキモノニアラズ又ハ抗拒ス可カラザル強制ニ遇ヒ其意ニアラズシテ違警罪ヲ犯シタルトキノ如キ處罰ス可キ限リニアラズ

三、先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ但一年内再ビ其違警罪管轄地内ニ於テ犯シタル時ニ非ザレバ再犯ヲ以テ論ズルコトヲ得ズ

四、違警罪二罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科ス

五、違警罪ニハ教唆者及ビ從犯ナシ

六、違警罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ其罪ヲ論セズ換言スレバ違警罪ニハ未遂犯ナシ

違警罪ハ刑法ニ規定セルアリ又行政官廳ノ發布ニカ、ルモノアリ刑法ニ規

違警罪規則ノ種類

定セルモノハ治安警察ニ關スル規則營業警察ニ關スル規則衛生警察ニ關スル規則建築警察ニ關スル規則交通警察ニ關スル規則道路警察ニ關スル規則風俗警察ニ關スル規則宗教警察ニ關スル規則埋葬警察ニ關スル規則火災警察ニ關スル規則是ナリ今此ノ分類ニヨリテ現行法ヲ排列スレバ大概左ノ如シ(母ヲ法學士松井茂氏ノ排列法ニ依ル)

第一 治安警察

- 一、規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂スベキ物品ヲ市街ニ運搬シタル者(第二條第一項)
- 二、規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂スベキ物品又ハ自ラ火ヲ發スベキ物品ヲ貯藏シタル者(第二四二條第二項)
- 三、官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者(第二四三條第三項)
- 四、人家秘密ノ場所ニ於テ濫リニ烟花其他火器ヲ玩ビタル者(第二四四條第四項)
- 五、蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ビ掃除スル規則ニ違背シタル者(第二四五條第五項)

- 六、人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者(第四二五項)
- 七、定リタル住居ナク平素營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者(第四二五項)
- 八、違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者(第四二五項)
- 九、公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス(第四二六項)
- 十、流言浮説ヲナシテ人ヲ誑惑シタル者(第四二七項)
- 十一、邸宅ノ番號標札牌又ハ貸家賣買ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者(第四二九項)
- 十二、他人ノ田野園圃ニ於テ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者(第四二九項)
- 十三、公園ノ規則ヲ犯シタル者(第四二九項)

第二 營業警察

- 一、警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲナシタル者(第四二七項)
- 二、官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者(第四二八項)
- 三、官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背シタル者(第四二八項)

第三 衛生警察

- 一、官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者(第四二五項)
- 二、自己ノ所有地内ニ死屍アルコトヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者(第四二五項)
- 三、不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者(第四二六項)
- 四、健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル者(第四二六項)
- 五、禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者(第四二七項)
- 六、汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者(第四二七項)
- 七、醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者(第四二七項)
- 八、溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル者(第四二八項)
- 九、官許ヲ得ズシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者(第四二八項)

第四 建築警察



- 一、官署ノ督促ヲ受テ崩壊セントスル家屋牆壁ノ修理ヲナサ、ル者(第四〇五條)
- 二、私有地外へ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者(第四二七條)
- 三、官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者(第四二七條)

第五 交通警察

- 一、人ノ通行スベキ場所ニアル危険ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲナサ、ル者(第四二六條)
- 二、制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者(第四二七條)
- 三、渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者(第四二八條)
- 四、渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フベキ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者(第四二八條)
- 五、他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者(第四二八條)
- 六、橋梁又ハ堤防ノ害トナルベキ場所ニ船筏ヲ繫ギタル者(第四二九條)
- 七、車馬ヲ竝へ牽キ行人ノ妨害ヲナシタル者(第四二九條)

- 八、水路ニ於テ船ヲ竝へ通船ノ妨害ヲナシタル者(第四二九條)
- 九、出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者(第四二九條)
- 十、通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者(第四二九條)
- 十一、通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者(第四二九條)

第六 道路警察

- 一、路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ喉シ又ハ驚逸セシメタル者(第四二六條)
- 二、發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者(第四二六條)
- 三、狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者(第四二六條)
- 四、濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲナシタル者(第四二七條)
- 五、夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者(第四二七條)
- 六、木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者(第四二七條)
- 七、瓦礫ヲ道路家屋圍面ニ投擲シタル者(第四二七條)
- 八、路上ノ植木市街ノ常燈及ビ廁場等ヲ毀損シタル者(第四二七條)

九、道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及指定標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者(第四二七條第十七項)

十、制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者(第四二七條第十七項)

十一、他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者(第四二八條第十項)

十二、牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲナシタル者(第四二九條第二項)

十三、氷雪塵芥等ヲ道路ニ投棄シタル者(第四二九條第二項)

十四、官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲナサ、ル者(第四二九條第六項)

十五、制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲナシ行人ノ妨害ヲナシタル者(第四二九條第七項)

十六、牛馬ヲ牽キ又ハ繫クコトヲ忽ニシテ行人ニ妨害ヲナシタル者(第四二九條第八項)

十七、路上ノ常燈ヲ消シタル者(第四二九條第十三項)

一、密ニ賣淫ヲナシ又ハ其媒合容止ヲナシタル者(第四二五條第十項)

二、路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲナシタル者(第四二八條第四項)

第七 風俗警察

一、密ニ賣淫ヲナシ又ハ其媒合容止ヲナシタル者(第四二五條第十項)

二、路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲナシタル者(第四二八條第四項)

三、道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯ゼザル者(第四二九條第十一項)

四、酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者(第四二九條第十二項)

五、人家ノ牆壁ニ貼紙及ビ樂書シタル者(第四二九條第十四項)

第八 宗教警察

一、墓碑及ビ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者(第四二六條第十項)

二、神祠佛堂其他公ケノ建造物ヲ汚損シタル者(第四二六條第十一項)

三、妄リニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符呪等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者(第四二六條第十二項)

第九 埋葬警察

一、官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者(第四二五條第十三項)

二、變死人ノ檢視ヲ受ケズシテ埋葬シタル者(第四二六條第九項)

三、死亡ノ申告ヲ爲サズシテ埋葬シタル者(第四二六條第十項)

第十 火災警察

一、人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者(第四二六條第一項)

刑法上ノ違警罪規則ノ地方官廳ニ於テ

二、水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スベキノ求メヲ受ケ傍觀シテ之ヲ肯ゼザル者(第四二項六)

刑法中ニ規定セル違警罪規則ハ概括且ツ一般的ノ性質ヲ有スルヲ以テ到底此ノ規則ヲ以テ各地方ニ於ケル違警ノ所爲ヲ規律スル能ハザルナリ各地方ニ於テハ其固有ノ風俗人情習慣氣候等ニ因テ自ラ特別ノ違警罪規則ヲ制定セズンバアル可カラズ故ニ明治二十三年法律第八十四號及勅令第二百八號ハ地方長官ニ其ノ發スル所ノ命令ニ十圓以內ノ罰金若クハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ許セリ違警罪規則ハ以上云フ如ク刑法第四百二十五條以下ノ規定及ビ各地方警察規則ナルヲ以テ今若シニ法抵觸スルトキハ何レヲ適用スベキヤ之ニ對シテハ簡單ナル答ヲ以テ足レリトス憲法九條ニヨリ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルヲ得ザルガ故ニ刑法ノ規定ニカ、ル違警罪規則ニ依ラザル可カラズ一方ヨリ云ヘバ刑法規定ノ違警罪規則ハ地方官廳ノ違警罪規則制定權ヲ制限シタルモノトスベキナリ

### 第三章 即決例

即決ヲ爲スヘキ人

警察署長及ビ分署長又ハ其代理タル官吏タルモノハ其管轄地内ニ於テ違警罪アルコトヲ知レバ其犯人ニ對シテ即決ノ處分ヲナス可キモノナリ代理タル官吏トハ蓋シ次席警部在署警部又ハ警部ノ代理ヲナセル巡查部長ヲ云フナリ是等ノ警察官ハ自己ガ進ンデ違警罪犯人ヲ處分スルモ亦之ヲ裁判所ニ送致スルモ自由ナリト云フモノニアラズシテ必ラズ即決處分ヲナスベキモノナリ何トナレバ即決例第一條ハ命令規定タルヲ以テナリ即決ノ處分ハ唯刑事ノ處分ニ止マリ私訴ニ付テ處分ヲナスコトヲ許サルモノナリ法律上普通裁判所ニ於テハ私訴ハ刑事訴訟ニ附帶スルヲ得ルモノナレドモ其性質民事訴訟ニシテ元來ニ於テハ刑事裁判所ニ審判ヲ許スベキモノニアラザレバ況ンヤ違警罪即決處分ニ附帶シテ行政官タル警察官ニ之ガ處分ヲナスノ權限ヲ賦與スベキモノニアラザルナリ而シテ刑事裁判所ニ私訴ヲ刑事訴訟ニ附帶シテ審判セシムルハ多少ノ理由ナキニアラザレドモ民事ニ何等ノ經

即決ノ形式

檢ナキ警察官ヲシテ違警罪即決處分ニ私訴ヲ附帶シテ決定セシムル如キハ頗ル危険ノコトタルナリ三十一號布告ノ警察官ニ私訴ヲ審判セシメザルハ一方ニ於テ危険アルヲ豫想シ又一方ニ於テ即決處分ノ行政處分タルノ精神ヲ表彰シタルモノニアラズンバアルベカラズ

即決處分ハ司法裁判ニアラザルヲ以テ司法裁判ニ要スルガ如キ形式ハ之ヲ要セズ唯被告人ノ陳述ヲ聽キ證據ヲ取調ベ有罪ナリト思料スルトキハ直チニ決定ヲ言渡スモノタリ即決ノ言渡ハ必ラズシモ被告人ノ面前ニ於テナスヲ要セズ故ニ被告人ヲ呼出スコトナク又ハ呼出シタリト雖ドモ出廷セザル時ニ於テモ直チニ處分シ其言渡書ヲ本人又ハ其住所ニ送達スレバナリ普通司法裁判ニアリテ被告人出頭セザルトキハ關席判決ヲナスモノタリ而シテ關席判決ヲナスニハ檢事ノ請求スル所ヲ聽キタル後ナラザル可カラズ又欠席判決ニ對シテハ三日以内ニ故障ヲナスコトヲ得ルモノタリ然レドモ違警罪即決處分ニアリテハ元行政處分ナルヲ以テ關席ノ言渡ヲナスニツキ何等ノ形式ナク又之ニ對シテ故障ヲ申立ツル等ノコトナキナリ

即決ニ對スル救濟

即決處分ニ對シテハ對席ナルト關席ナルトヲ問ハズ其救濟ノ方法トシテ區裁判所ニ正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得ルモノタリ是レ刑事訴訟法ノ所謂控訴ニアラズ何トナレバ即決處分ハ行政處分ナルヲ以テ之ニ對シテ控訴ト云フベキモノアルコトナケレバナリ布告ガ正式裁判ヲ認ムルハ先キノ裁判ニ不服ナルヲ以テ上級審ニ對シテ更ニ裁判ヲ求ムルト云フ主旨ニアラズシテ警察官ノ專擅ヲ防グ爲メニ新ニ司法裁判ノ審判ヲ仰グコトヲ許シタルモノナルニ外ナラズ故ニ即決處分ニ對シ區裁判ノ審判ヲ求メ更ニ第二審ヲ仰ギ又更ニ進ンデ上告審ノ裁判ヲ請フコトヲ得ベキモノタリ若シ即決處分ノ法律上ノ地位ヲ以テ司法裁判ト同シキモノトセン乎重罪輕罪ノ如キ罪質ノ重大ナルモノニハ第三審マデノ裁判ヲ許シ違警罪ノ如キ拘留又ハ科料ニ該ルベキ罪質ノ輕微ナル犯罪ニハ第四審マデノ裁判ヲ許スコトトナリ頗ル其權衡ヲ生ズルモノト謂ハザル可カラズ斯ルコトハ法理上決シテ許スベキモノニアラズ而シテ違警罪即決處分ニ對シテ救濟ノ道三階級アルハ愈以テ其性質ノ行政處分タルコトヲ示メスモノニアラズシテ何ゾヤ即決處分ニ對シ

即決ノ言渡書

テ正式裁判ノ請求アルトキハ直ニ此ノ處分消滅シ檢事ノ起訴ヲ待タズシテ當然區裁判所ニ權利拘束トナルモノナリ布告ニ正式裁判ヲ經ズシテ直チニ上訴ヲナスコトヲ得スト規定セルハ自ラ其主旨ノアル所ヲ知ルベキナリ即決ノ言渡書ニハ被告人ノ氏名年齢身分職業住所犯罪ノ場所年月日時罪名刑名及正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得ベキ期限並ニ其言渡ヲナシタル警察署年月日警察官ノ氏名ヲ記載セザル可カラズ司法裁判所ノ判決ニアリテハ之ヲ言渡スレバ辨論ヲ終リタル後即日又ハ次ノ開庭日ニ主文ノ朗讀ニ因リ之ヲナシ其判決ノ理由ハ判決ノ言渡ト同時ニ之ヲ朗讀シ又ハ口頭ニテ其要領ヲ告グベキナリ又刑ノ言渡ヲナスニハ罪トナルベキ事實及ビ證據ニ依リテ之ヲ認メタル理由ヲ明示シ且法律ヲ適用シ其理由ヲ付スベキナリ判決ノ原本ニハ其裁判ヲナシタル裁判所年月日其事ニ干與シタル檢事ノ官氏名ヲ記載シ刑事裁判所書記共ニ署名捺印スルモノタリ以上ヲ比較シ以テ即決ノ言渡ト判決ノ言渡ト大ニ異ルアルヲ見ルベキナリ

正式裁判請求ノ期間

正式ノ裁判ヲ請求スル者ハ即決ノ言渡ヲナシタル警察署ニ申立書ヲ差出ス

ベキナリ但其期限ハ被告人ノ面前ニ於テ言渡シタルトキハ三日以内又面前ニテ言渡ヲナサザリシトキハ言渡書ノ送達アリタルトキヨリ五日以内ナリトス刑事訴訟法ニ於テハ日ヲ以テスルモノハ初日ヲ算入セズ若シ最終ノ日休暇ニ當ルトキハ期間ニ算入ス可カラズトアルヲ以テ言渡ノ翌日ヨリ起算スベキカ又最終ノ日休暇ニ當ルトキハ期間ニ算入ス可カラザルカ違警罪即決例ハ元ヨリ單獨ナル布告ニシテ決シテ刑事訴訟法ニ對スル特別法ニアラザルヲ以テ其起算點等ノコトハ必ラズシモ刑事訴訟法ノ總則ニ依ル可キモノニアラザルナリ凡ソ行政ノ處分ハ法令ノ版圖内ニ於テナス可キモノナレドモ之ヲナスニ付キテノ手續ニ關スル規定ナクンバ行政官ノ便宜自由ニナスコトヲ得ベキモノタリ故ニ法令ノ規定ニ違反セザル限りハ被告人ノ利益ノ爲メニ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用スルモ可ナリ又セザルモ敢テ違法ニアラズ然レドモ自己ノ獨斷ニヨリテ處理スルヨリモ能フ可クンバ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用スルノ優レルニ若カザルナリ例ヘバ時効ノ規定假住所撰定ノ規定言渡書ノ下付ニツキテハ判決ノ正本謄本又ハ抄本下付ノ規定等ノ如キハ

皆之ヲ準用スルモ決シテ違法又ハ不當ニアラザルナリ  
 警察署ニ於テ正式裁判ヲ受ケタキ旨ノ申立ヲ受理シタルトキハ二十四時間  
 内ニ訴訟ニ關スル一切ノ書類ヲ區裁判所ニ送附スヘキモノタリ若シ二十四  
 時間内ニ送致セザルトキハ其中立無効トナルヤト云フニ決シテ然ラズ警察  
 官ハ監督官應ニ對シ贖職ノ責任ヲ負ブルコトアルモ申立ハ有効タリ申立ヲ  
 ナス可キ期間内ニ正式裁判ノ申立ヲナサザルトキハ懈怠ノ結果トシテ最早  
 正式裁判ヲ受クルノ請求ヲナスコトヲ得ズ即決處分ヲ以テ確定シタルモノ  
 トスルナリ

即決處分ニ關  
 照セラル其他ノ  
 處分

警察官ハ即決處分ヲナスコトヲ得ルト同時ニ又必要ト認ムル場合ニ於テハ  
 他ニ相當ノ處分ヲナスコトヲ得ルモノタリ科料ノ言渡ヲナシタルトキハ其  
 金額ヲ假納セシム科料ノ如キハ刑ノ言渡ヲ受ケナガラ之ヲ納メズシテ其所  
 在ヲ味マス等ノコトアレバナリ若シ資力ナク納付スル能ハザルトキハ一回  
 ヲ一日ニ折算シテ之ヲ留置シ其一回ニ滿ザルモノト雖トモ一日ニ之ヲ計算  
 ス拘留ノ言渡ヲナシタルトキハ之ガ確定ニ至ルマデ原則トシテ被告人ノ自

保證金ノ没  
 入

由ヲ拘束スル能ハズ然レドモ若シ絶對的ニ自由ヲ拘束スル能ハズトテ之ヲ  
 放還スルトキハ浮浪罪ノ如キ被告人ヲシテ容易ニ逃避セシメ言渡ノ目的ヲ  
 達スル能ハザルニ至ルヲ以テ一回ヲ一回ニ折算シ其刑期ニ相當スル金額ヲ  
 保證トシテ差出サシム若シ差出サザルトキハ三日(對席言渡ノトキ)若クハ五  
 日(欠席言渡ノトキ)ノ期間内之ヲ留置ス然レトモ拘留二日ニ處セラレタル如  
 キコトアラバ確定スルハ三日若クハ五日ナルヲ以テ此ノ期間内留置スルト  
 キハ言渡シタル刑期ヨリモ留置セラル、期間永クナルコトアルガ故ニ布告  
 ハ刑期五日内ナルトキハ其日數ヲ過クルコトヲ得ザラシメタリ司法裁判所  
 ニ於テハ拘留ノ刑ヲ言渡シタルトキト雖ドモ控訴期間内ハ被告人ノ自由ヲ  
 拘束スルコトナシ又保證金ヲ出サシムルコトモナシ是レ即決處分ト異ル所  
 タリ

保證金ヲ差出シタルトテ拘留ノ刑ヲ免ル、モノニアラズ逃亡等ノナキコト  
 ノ擔保トシテ若干ノ金ヲ差出シ置クマデニ止マルナリ故ニ即決ノ言渡確定  
 シタル後ハ直チニ出廷シテ其執行ヲ受クベキナリ拘留ノ執行ヲ受クベキ場

所ハ監獄附近ノ地ナレバ監獄監獄ニ遠キ地ニアリテハ警察署ナリトス警察署ニ拘留スルハ法律ノ認ムル所ニアラザレトモ監獄ニ遠キトキハ押送ノ爲メ費用又ハ手數ヲ要スルヲ以テ之ガ節略ノ爲メニ假リニ警察署ヲ監獄ノ一部トモナシ拘留スルモノタリ若シ執行ヲ受クル爲警察署ニ出頭セザルトキハ保證金ヲ没入シテ本刑ニ換フ是レ本旨ニアラズ刑ヲ執行セシムルガ當然ナレドモ便宜ノ處分トシテ本刑ニ換ユルコト、ナルナリ此ノ點モ亦司法裁判ト異ル所ニシテ罰金刑ニ處セラレタル者期日ニ之ヲ納付セザルトキハ体刑ニ換フト雖ドモ体刑ニ處シタル場合ニアリテ金錢ヲ以テ之ニ換ユルガ如キコトナシ留置シタル者正式ノ裁判ヲ請求シ因テ呼出狀ノ送達アリタルトキハ直チニ留置ヲ解キ裁判所ニ送致セザル可カラズ科料又ハ拘留ノ言渡ヲナシタルトキ若シ其言渡アルマデニ之ヲ留置シタルコトアレバ一日ヲ一圓ニ折算シ之ヲ科料ノ金額ニ算入シ又其日數ヲ拘留ノ刑期ニ算入スベキナリ是被告人ノ利益ヲ保護シタルモノニアラズンバアル可カラズ

演繹法

歸納法

### 第四章 即決表

凡ソ事物ノ眞理ヲ發見スルニ二様ノ方法アリ一ハ先天主義ニヨルモノ二ハ後天主義ニヨルモノ是ナリ先天主義トハ何ゾヤ曰ク事物ノ眞理ヲ認識スルハ吾人ノ心理的作用ニ存スト云フモノナリ又後天主義トハ事物ノ原理ヲ知ルト云フコトハ吾人ノ經驗感覺ニ元ヅクト云フモノナリ我思辨ス即チ事物アリト云フハ先天主義ニシテ事物存ス即チ我認識スト云フハ後天主義ナリ換言スレバ先天主義トハ演繹法ニシテ或ル原理ヲ眞ナリト假定シ此ノ原理ニヨリテ事物ノ諸現象ヲ解釋セントスル所ノモノタリ而シテ後天主義トハ歸納法ニシテ或ル事物ノ諸現象ヲ彙類綜合シテ其中ヨリ眞理ヲ發見セントスル所ノモノタリ此ノ二主義ハ古來希臘時代ヨリ事物ノ眞理ヲ研讃スルニ當リテ學者ノ優劣ヲ爭フ所タリ然レトモ余ヲ以テ之ヲ見ルニ事物ノ眞理原則ヲ發見スルニハ諸種ノ事物ヲ彙類綜合シテ歸納法ニ依ル後天主義ヲ以テ優レリトスルナリ現今事物ノ原理原則ヲ研究スルノ材料トシテ事物ノ統計

事物統計

ヲ重ンズルハ洵ニ故アルナリ事物ノ統計ヲ取リ以テ其中ヨリ眞理ヲ得ルハ最モ確實ナル方法タリ而シテ犯罪ニツキテモ諸種ノ現象ヲ彙類綜合シテ以テ之ガ統計ヲ作り如何ナル時期ニ於テ如何ナル犯罪ガ多キヤ如何ナル原因ニヨリテ如何ナル罪惡ガ最モ多ク犯サル、カ如何ナル種類ノ人ガ如何ナル種類ノ罪惡ヲ最モ多ク犯スモノナルヤ等ヲ研究スルハ最モ必要ナル事タラズンバアル可カラズ然レドモ是等犯罪統計ハ法律上司法警察官何等ノ義務ヲ有セザルヲ以テ必ラズシモ之ヲナサズシテ可ナリト雖ドモ苟クモ司法事務ニ執掌スル職務アル以上ハ之ガ統計表ヲ製作シ己ガ職務上ノ參考ニ資スルニ於テ何ノ價値ナカラザランヤ而シテ違警罪即決ニツキテハ司法警察官責任アルト同時ニ明治十八年十二月十二日司法省達丙第十一號ニヨリテ毎年一月ヨリ十二月マデノ即決事件ヲ統計シ翌年二月マデニ取纏メ差出ス可キコト、ナレルヲ以テ少クトモ即決事件ヲ統計スベキ義務アルナリ其表式及ビ書例ハ左ノ如シ(司法省達丙第十一號參照)

明治何年 何府 何縣 何警察署 又ハ何分署

違警罪即決表

違警罪ノ性質	二 件		四 音	區 分	人 員	五 計
	數	員				
刑法第四百二十五條 一規則ヲ遵守セズシテ火藥ヲ 市街ニ運搬セシモノ 男			免	十一日以上 十二日以下	一週以上 一週以下	
三官許ヲ得ズシテ烟火ヲ製造 シ又ハ販賣シタルモノ 男			免	十一日以上 十二日以下	一週以上 一週以下	
刑法第四百二十六條 十二公然人ヲ罵詈シタルモノ 女			免	十一日以上 十二日以下	一週以上 一週以下	
何府 違警罪 計(刑法各條ノ通計)			免	十一日以上 十二日以下	一週以上 一週以下	
何縣 違警罪 計(地方ノ便宜ニ依リ設ケタル 違警罪ノ通計)			免	十一日以上 十二日以下	一週以上 一週以下	
合 計			免	十一日以上 十二日以下	一週以上 一週以下	

明治何年 何府 何縣 何警察署 又ハ何分署



諸規則違犯即決表

諸規則違犯	二	三	四 音渡區分人員	五	六 附加
	數件	員人			
郵便罰則			科料 以上四 未滿四		
酒造稅則					
烟草稅則					
計					

明治何年府縣何警察署又ハ何分署同上

別號第一表

科料	人員	金額
一完納		
二假納シテ正式ノ裁判ヲ請求セサル		

別號第二表

拘留人員	員
一執行濟	
二保證金ヲ差出サ、ルニ付留置セシモノ	

モノ  
三不完納  
四假納セサルニ因リ留置セシモノ  
五幾部(納否)未定(全部納否)

換刑人員	員
七科料ヲ拘留ニ換(シモノ)	

三保證金ヲ差出シタル後出廷シテ執行ヲ受ケタルモノ  
四保證金ヲ差出シタル後出廷セサルニ因リ保證金ヲ没入シタルモノ

没入保證金何圓何拾錢(第四號ニ掲ケタル人員ニ對スル金額ナリ)	計
--------------------------------	---

違警罪即決表書例

本表欄外年號並署名標題等總シテ表式ニ照ラン記載ス可シ但表中員數ノ記載方ハ千百十九件ナレバ「一一九」ト記シ一萬千三百九十人ナレバ「一三九〇」ト記ス可シ  
第一欄ハ刑法ノ各條項ヲ區別シ又男女ノ員數ヲ區分スルコト表式ニ示シタルガ如シ

何縣違警罪トアル以下ハ刑法第四百三十條ニ係ル犯罪ノ各項ヲ區別列載スヘシ

第二欄ハ告訴告發其他ノ區分ヲ問ハス即決セシ總件數ヲ記スルモノトス但一事件中ノ被告人ニ男女アル時ハ第一欄男ノ下ニ件數ヲ記シ女ノ下ニハ之ヲ省クヘシ又一人ニシテ數罪ヲ犯シ各其刑ヲ科シタル時ハ刑ノ重キ者ニ就キ其刑等シキ時ハ第一欄罪目記載ノ前後ニ從ヒ前記罪目ノ下ニ件數ヲ記シ他ノ罪目ノ下ニハ之ヲ省キ件數重複セサルヲ要ス

第三欄ハ同上ノ總人員ヲ記スルモノトス但一人ニシテ數罪ヲ犯シ各其刑ヲ科シタル時ハ刑ノ重キ者ニ就キ其刑等シキ時ハ第一欄目記載ノ前後ニ從ヒ前記罪目ノ下ニ其數ヲ記シ他ノ罪目ノ下ニハ時ニ朱字ヲ以テ其數ヲ記シ總人員ト重複人員トヲ識別スルニ便ナラシム可シ

第四欄ハ言渡ノ區分ニ從ヒ其人員ヲ記載スルモノトス但科料金完納セサルヲ以テ拘留ニ換ヘタルモノハ別號表ニ記載スヘキモノナルガ故此ニ混記セサルヲ要ス

若シ拘留五日ニ該當スルモノ再犯加重ニ因リ六日以上ニ入り科料一圓未滿ノモノ加重シテ一圓以上ニ入ルノ類ハ左ノ如ク表外ニ附記スヘシ

刑法第何條何項ニ係ル拘留何日以上ノ内再犯ニ因リ加重ノ者何人何處府

違警罪何々(罪狀ヲ)ニ係ル科料一圓以上ノ内再犯ニ因リ加重ノ者何人  
第五欄ハ無罪以上科料ニ至ル迄ノ人員ヲ通計スルモノトス即チ第三欄ノ人員ト同一ナルヘシ

諸規則違犯即決表書例

本表欄外年號並署名表題等總シテ表式ニ照ラシ記載ス可シ但表中員數ノ記載方ハ違警罪即決表ニ同シ

第一欄ハ諸規則ノ各目ヲ列載シ又ハ男女ノ員數ヲ區分スルコト表式ニ示シタルガ如シ

第二欄以下各欄ノ書例ハ總シテ違警罪即決表ニ同シ但本表ハ第一欄ニ掲ケタル一ノ罰則ヲ以テ一罪トナスカ故一罪則中ノ各條項ヲ犯シ各其刑ヲ科シタル時ハ之ヲ合算シテ表記スルモノトス若シ將來表式記載外ノ條件起

ル時ハ隨時各欄各項ヲ設ケサルヲ得サルコトアル可シ即チ拘留ニ係ル者アル如キハ科料ノ上ニ一項(違警罪即決表ニ準シテ日數ヲ區分ス)ヲ設クルノ類是ナリ  
別號表書例

本表欄外年號並署名標題等總シテ表式ニ照シ記載スヘシ但各表員數ノ記載方ハ違警罪即決表ト同シク數字ヲ以テ記入シ千位ニ、點ヲ附シ金額ノ圓位ニハ〇點ヲ附シ厘位ニ止マルモノトス

第一表

第一項ニハ科料ノ言渡違警罪即決例第八條ニ據ラサルモノヲ受ケタル金額ヲ悉皆收納セシモノニ就キ其人員及金額ヲ掲ルモノトス但前年ノ言渡ニ係ルモノト雖モ本年ニ至リ收納セシ者ハ此ニ合ス以下各項モ亦此例ニ依ルヘシ

第二項ニハ即決例第九條ニ依リ科料金ヲ假納セシメタル後其言渡確定シタル人員及金額ヲ掲ルモノトス

第三項ニハ言渡シタル科料金ヲ完ク收納シ能ハスシテ拘留ニ換ヘタル人員及金額ヲ掲ルモノトス

第四項ニハ科料金ヲ假納セサルニ因リ留置セシ人員及其金額ヲ掲ルモノトス

第五項ニハ言渡シタル科料金額中ノ幾部ヲ收メタル人員ト其納否金額ヲ區別掲載スルモノトス即チ科料壹圓ノ言渡ヲ受ケタル者(姑ク一人ト看做ス)資力少クシテ僅ニ貳拾五錢ヲ納メ殘金七拾五錢ハ收納スル能ハザルヲ以テ拘留ニ換ヘシトキハ人員ノ欄ニ於テ納否ノ中間ニ一ト記シ金額ノ欄ニ於テ納ノ下ニ〇・二五〇ト記シ否ノ下ニ〇・七五〇ト記スルノ類ナリ

第六項ニハ納期限内ニ在テ未タ全部ヲ納メス又ハ金額ノ内幾部ヲ納メ又ハ納期過去ルモ逃走等ノ事故ニ依リ年末マテ納否未定ニ係ル人員及金額ヲ掲ルモノトス例ヘハ壹圓ノ言渡ヲ受ケタルモノ二人アリテ未タ全部ヲ納メサル時ハ全部ノ下人員ノ欄ニ於テ二ト記シ金額ノ欄ニ於テ二・〇〇ト記シ又五拾錢ノ言渡ヲ受ケタル者三人ノ内一人ハ四拾錢一人ハ三拾錢一人ハ貳拾錢ヲ納メ殘金ノ納否未タ決セサルヲ以テ換刑スルニ至ラサル時ハ人員ノ欄ニ於テ納否ノ中間ニ三ト記シ金額ノ欄ニ於テハ納ノ下〇・九〇

○否ノ下ニ〇六〇〇〇ト記スル類ナリ  
 第七項ニハ第三項第五項ノ人員中禁錮ニ換ヘシ者ヲ掲ルモノトス  
 第二表

本表各項各欄ノ記載法ハ表式ニ詳カナルヲ以テ更ニ説明ヲ要セス  
 右書例ニ從ヒ製表シ尙ホ左ノ通心得ヘシ

- 一 違警罪諸規則違犯ノ處分甲ノ警察署(分署モ包含)ヨリ乙ノ警察署ニ囑託シタル場合ニ於テ其全部(被告ノ尋問或ハ尋問ニ至ル迄)ノ囑託ニ係ルモノハ乙警察署ニ於テ製表シ一部(被告人ノ尋問或ハ尋問ニ至ル迄)ニ係ルモノハ甲警察署ニ於テ製表シ彼是重複セサルヲ要ス
- 一 各表ノ用紙ハ美濃又ハ同形ノモノヲ用ヒ進達ノ時左式ニ從テ其目錄ヲ添フヘシ

違警罪各表進達目錄

- 明治何年警視廳 何府縣何警察署
- 一 違警罪即決表 何枚

同	諸規則違犯即決表	何枚
一	別號第一表	何枚
同	同 第二表	何枚
同	何分署	
一	違警罪即決表	何枚
同	諸規則違犯即決表	何枚 記事ナシ
同	別號第一表	何枚 何々ノ事故アリ取調メ見込ニロリ何月迄ニ進達ノ見込
一	別號第二表	何枚

右進達候也

年 號 月 日

何 縣府總長官氏名

司法卿或司法卿ハ今日ニアリテハ司法大臣

司法警察手續法終

明治三十四年二月廿五日印刷  
明治三十四年二月廿八日發行

(司法警察手續法並製)  
定價金四拾錢

不許複製

著 者 中 大 路 正 雄

東京日本橋區本町三丁目八番地

發 行 者 大 橋 新 太 郎

東京本鄉區丸山福山町六番地

印 刷 者 水 谷 景 長

東京小石川區久堅町百八番地

印 刷 所 會 社 博 進 社 工 場

發 兌 元

東京市日本橋區  
本町三丁目

博 文 館

全 部 本  
壹 百 部 定

書 價

●並製(一)壹册金廿五錢○六册(貳冊)拾貳册金參圓八拾錢○廿五册金七圓五拾錢  
○五拾册金拾四圓五拾錢○百册金廿八圓○郵稅壹册に付き八錢  
○上製(一)總クローノ金學入○壹册金五拾錢○六册金貳圓八拾錢○拾貳册金五圓四拾  
○廿五册金拾四圓八拾錢○五拾册金廿壹圓○百册金四拾圓○郵稅壹册に付き八錢  
總て前金の事

帝國百科全書既刊目次

帝 國 百 科

拾七	拾六	拾五	拾四	拾參	拾貳	拾壹	九	八	七	六	五	四	參	貳	壹		
新法	邦語	植營	栽營	論理	修辭	農業	支那	萬國	農產	新製	宗敎	肥料	日倫	世界	日本		
撰律	英文	物營	培營	理學	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	
代數	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	文法	
學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	學論	
高木	熊谷	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	
理學士著	法學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	
卅貳	卅壹	參拾	廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿參	廿貳	廿壹	貳拾	拾九	拾八	拾七	拾六	
西財	物產	民法	商法	民法	日法	法事	日法	倫理	國際	國際	相續	民法	森林	新撰	地質	地質	
洋政	產法	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總	法總
哲學	釋義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義	論義
史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學	史學
經江	川	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
文士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著	法學士著

科 全 書

卅參	卅四	卅五	卅六	卅七	卅八	卅九	四拾	四拾壹	四拾貳	四拾參	四拾肆	四拾伍	四拾陸	四拾柒	四拾八				
日本	近世	哲學	商工	提業	商業	氣候	最新	西學	分西	民法	稅法	東洋	政治	政治	政治				
論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學	論學			
田中	高田	藤井	永井	本多	清水	佐々木	夏秋	吉國	藤井	九尾	岸崎	中野	森山	永井	阪本	阪本			
法學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著		
四拾九	拾壹	拾貳	拾參	拾肆	拾伍	拾陸	拾柒	拾捌	拾玖	拾	拾壹	拾貳	拾參	拾肆	拾伍	拾陸	拾柒		
送會	本會	那文	產法	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	林產	
法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	法學	
菅原	十時	三浦	白河	高見	田口	新島	岸崎	井上	赤松	蜂屋	須藤	西村	松村	龜高	青木	青木	青木	青木	青木
法學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著	文學士著

發 兌 元

東京市日本橋區本町三丁目

博 文 館

每月貳 本 書  
回發行 必 之 要

方今日進月歩の發達は専門學術の普及を促して已まず、本書は乃ち此急需に應じて起りたる者に  
して、社會智識の指導を以て任する者、各種の術藝網羅して洩らさず、實に本邦未曾有のエンサ  
イクロベテイヤ也、獨り傳へし者、蓋現今日本人必須の寶典也

90  
67

# 警察監獄全書

第壹編 監獄學

谷野格君著

金壹冊 洋裝菊判  
紙數三百三拾餘頁

監獄費國庫支辨並製金四十錢、郵税八錢、監獄事務は内務省を脱離して重に司法行  
政の配下に歸屬せり、然れども半億の國人中、其事務を悉く知悉するもの果して  
幾干を而して其國庫支辨と爲し、又司法行政事務と爲す、當否に關し、特立の見解  
を有するものに至りては、寧ろ一國の如く、立法又は行政の略の問題たるに足る而して  
座たるに足り、監獄思想の缺乏する斯の如く、太甚しとせば、豈に當に當該私人の不幸  
のみに言はんや。

法學士 中大路正雄君著

第貳編

司法警察手續法

全壹冊 洋裝菊判  
紙數三百貳拾餘頁

社會の罪惡は人間道義心の腐敗と共に益す増加し之を防止する司法警察の任務  
は日に益々其重き上加ふ然れども犯罪は巧の上に加へて法網を免れんと欲  
し、人名家の所説を參照して此書を編せし司法警察法の原理を論究し、讀者をして  
東西名家の習熟して社會の罪惡を矯正せんと欲する所以なり、司法警察の意義、警官  
の責任、其の責任を全ふる方法等は詳説して除盡なし。

目次刊

法警

醫察

學學

衛刑

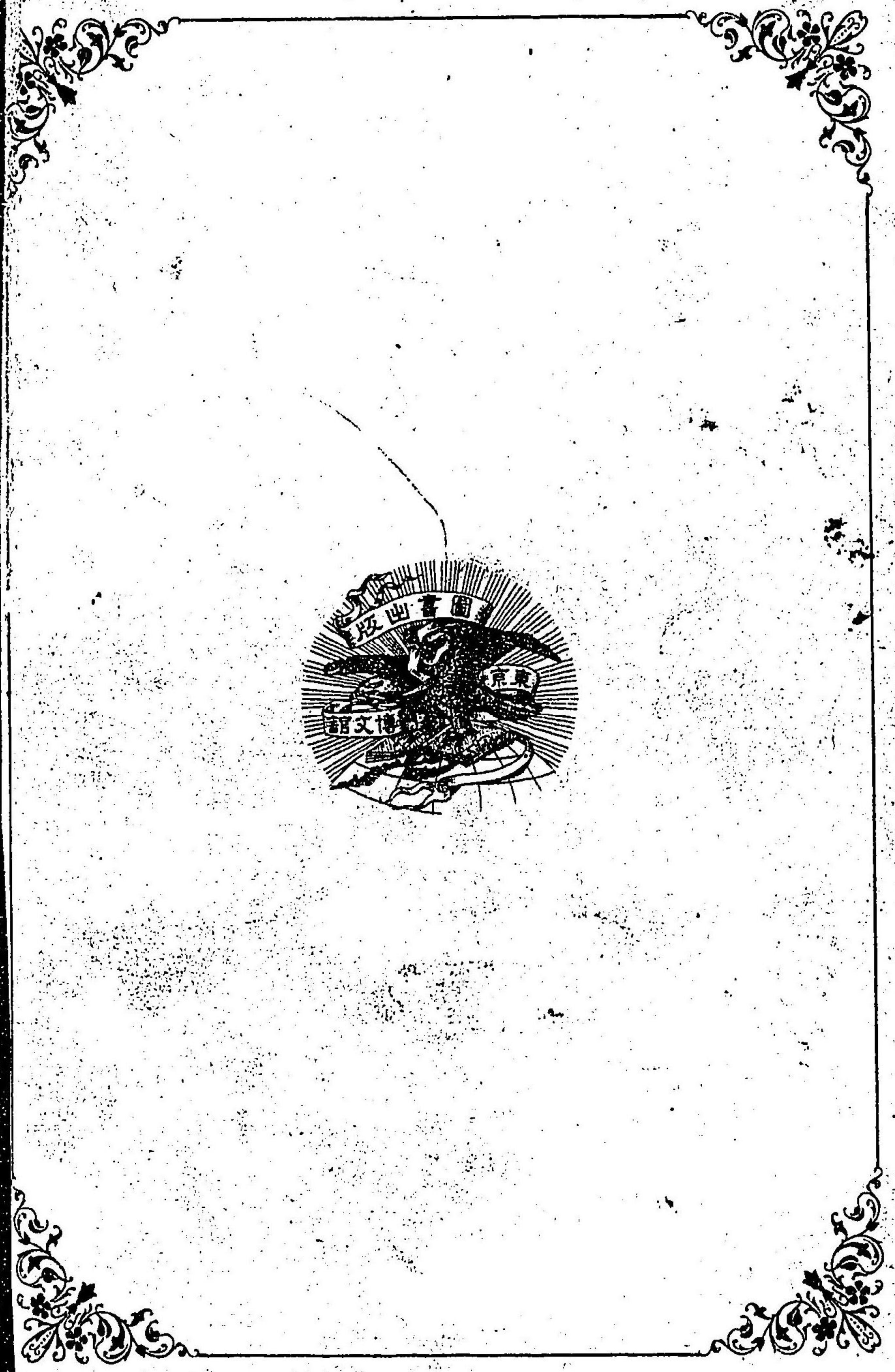
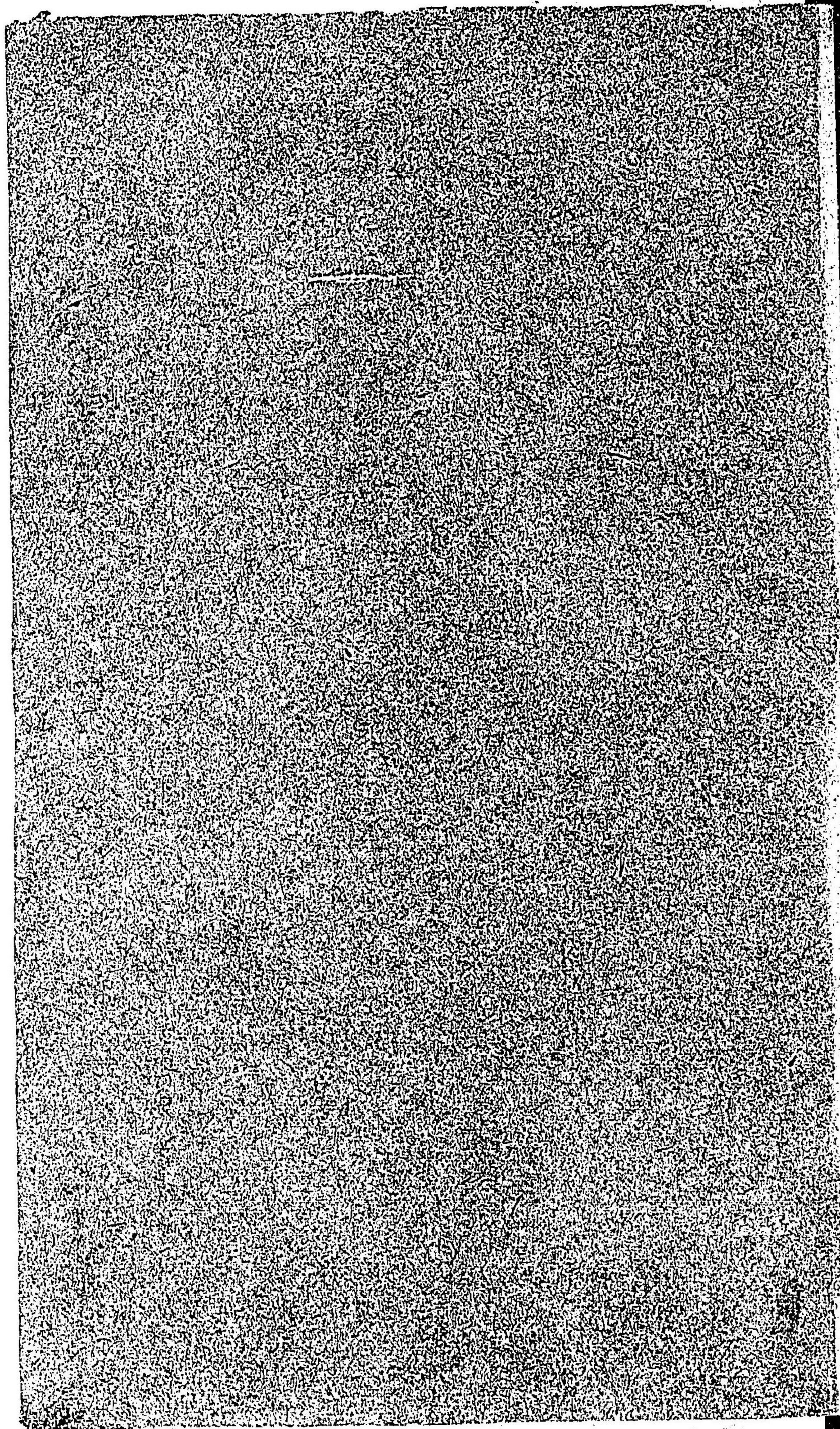
生事

警警

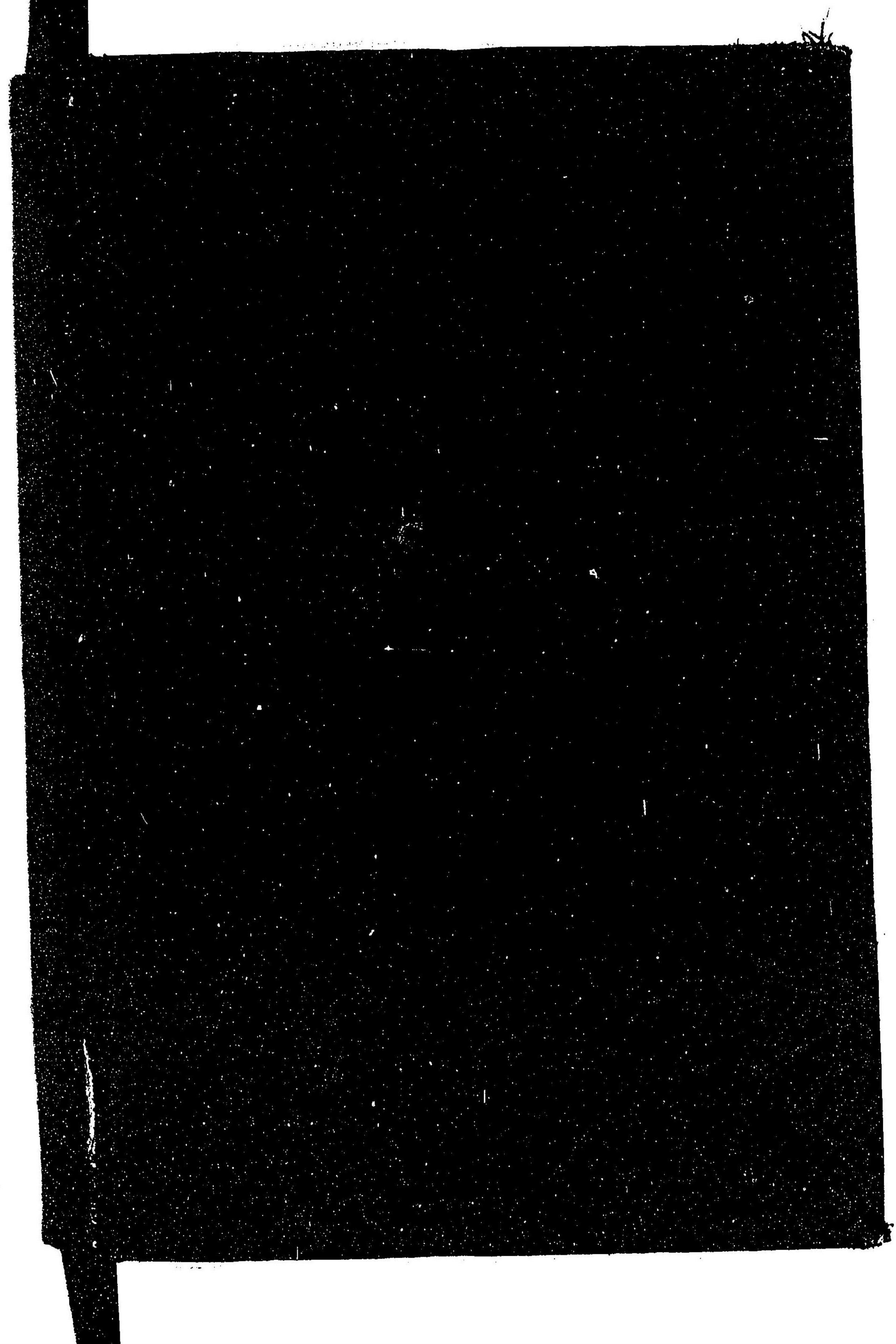
察察

法法

元兌發 館文博 目丁三町本區橋本日京東







90
67

呼出シ之ヲ取調ベ鑑定人ニ鑑定セシムル等ノコトハ現行犯ノ場合ニテモナ  
スコトヲ得ズ概括シテ之ヲ云フトキハ巡查憲兵卒ハ犯罪ノ捜査ニ付テハ司  
法警察官ノ指揮命令ヲ待ツベキモノニシテ單獨ナル職權ヲ有セズ又處分ヲ  
ナスコトヲモ得ザルモノタリ然レドモ之ニ對シテ例外アリ此ノ例外ノ場合  
ニハ單獨ナル職權アリト云フベキナリ

一、現行犯ノ逮捕

二、令狀執行

令狀執行ハ檢事及ビ司法警察官ノ指揮監督ヲ受クベキモノナレドモ其執行  
ニ關シテハ公力ヲ用ユル點ニ於テハ獨立ノ權限アリトスルナリ

### 第一節 現行犯ノ逮捕

被告人ノ逮捕

刑事訴訟法五十八條ニヨレバ巡查憲兵卒其職務ヲ行フニ當リ重罪又ハ禁錮  
ノ刑ニ該ル可キ輕罪ノ現行犯アルコトヲ知リタルトキハ令狀ヲ待タズシテ  
被告人ノ逮捕スルコトヲ得ルモノタルコトヲ規定セリ禁錮以上ノ刑ニ該ル

家宅侵入

可キ罪ノ現行犯アルニ當リテハ之ヲ逮捕スルコトガ巡查憲兵卒ノ職務タリ法  
律ニハ職務ヲ行フニ當リトアルヲ以テ職務ヲ行ハザル際即チ非番ノ如キ場  
合ニアリテハ被告人ヲ逮捕セズシテ可ナルガ如シト雖モ既ニ職ヲ司法警察  
ニ奉ズル以上ハ當番非番ノ區別ナク現行犯若クハ準現行犯アリト認知シ又  
ハアリタリト思料シタルトキハ之ヲ逮捕スル法律上ノ義務アルモノト謂ハ  
ザル可カラズ然レドモ其事件輕微ニシテ且被告人逃走ノ恐ナシト思料スル  
場合ニハ必ラスシモ被告人ヲ逮捕セザルモ可ナリトス逮捕スルハ被告人ノ  
逃走證據湮滅ヲ防グニアルモノナレバナリ

物件ノ差押

巡查憲兵卒ハ司法警察官ノ指揮命令ニ是レ從ハザル可カラザル下官ニシテ  
夫レ自身ニ於テ強制ノ處分ヲナスノ權能ナケレドモ逮捕スル場合ニアリテ  
ハ人ノ家宅内ニ進入スルコトヲ得ルナリ目的ハ逮捕ニアルヲ以テ其以外ノ  
コトハ如何ナル場合ト雖ドモナス可カラズ證據物件ノ目前ニ散在スルアラ  
バ假リニ押收スルコトハ差支ナキモ單ニ家宅内ニ存在スルナラント思料スル  
場合ニアリテ家宅ヲ搜索スル如キハ決シテ爲ス可カラザルナリ例ヘバ賭博

所ハ監獄附近ノ地ナレバ監獄監獄ニ遠キ地ニアリテハ警察署ナリトス警察署ニ拘留スルハ法律ノ認ムル所ニアラザレトモ監獄ニ遠キトキハ押送ノ爲メ費用又ハ手數ヲ要スルヲ以テ之ガ節略ノ爲メニ假リニ警察署ヲ監獄ノ一部トモナシ拘留スルモノタリ若シ執行ヲ受クル爲警察署ニ出頭セザルトキハ保證金ヲ没入シテ本刑ニ換フ是レ本旨ニアラズ刑ヲ執行セシムルガ當然ナレドモ便宜ノ處分トシテ本刑ニ換ユルコト、ナルナリ此ノ點モ亦司法裁判ト異ル所ニシテ罰金刑ニ處セラレタル者期日ニ之ヲ納付セザルトキハ体刑ニ換フト雖ドモ体刑ニ處シタル場合ニアリテ金錢ヲ以テ之ニ換ユルガ如キコトナシ留置シタル者正式ノ裁判ヲ請求シ因テ呼出狀ノ送達アリタルトキハ直チニ留置ヲ解キ裁判所ニ送致セザル可カラズ科料又ハ拘留ノ言渡ヲナシタルトキ若シ其言渡アルマデニ之ヲ留置シタルコトアレバ一日ヲ一圓ニ折算シ之ヲ科料ノ金額ニ算入シ又其日數ヲ拘留ノ刑期ニ算入スベキナリ是被告人ノ利益ヲ保護シタルモノニアラズンバアル可カラズ

### 第四章 即決表

演繹法

歸納法

凡ソ事物ノ真理ヲ發見スルニ二様ノ方法アリ一ハ先天主義ニヨルモノニハ後天主義ニヨルモノ是ナリ先天主義トハ何ゾヤ曰ク事物ノ真理ヲ認識スルハ吾人ノ心理的作用ニ存スト云フモノナリ又後天主義トハ事物ノ原理ヲ知ルト云フコトハ吾人ノ經驗感覺ニ元ヅクト云フモノナリ我思辨ス即チ事物アリト云フハ先天主義ニシテ事物存ス即チ我認識スト云フハ後天主義ナリ換言スレバ先天主義トハ演繹法ニシテ或ル原理ヲ眞ナリト假定シ此ノ原理ニヨリテ事物ノ諸現象ヲ解釋セントスル所ノモノタリ而シテ後天主義トハ歸納法ニシテ或ル事物ノ諸現象ヲ彙類綜合シテ其中ヨリ真理ヲ發見セントスル所ノモノタリ此ノ二主義ハ古來希臘時代ヨリ事物ノ真理ヲ研鑽スルニ當リテ學者ノ優劣ヲ爭フ所タリ然レトモ余ヲ以テ之ヲ見ルニ事物ノ真理原則ヲ發見スルニハ諸種ノ事物ヲ彙類綜合シテ歸納法ニ依ル後天主義ヲ以テ優レリトスルナリ現今事物ノ原理原則ヲ研究スルノ材料トシテ事物ノ統計

ル時ハ隨時各欄各項ヲ設ケサルヲ得サルコトアル可シ即チ拘留ニ係ル者  
アル如キハ科料ノ上ニ一項(逋背罪即決表ニ準)ヲ設クルノ類是ナリ  
別號表書例

本表欄外年號並署名標題等總シテ表式ニ照シ記載スヘシ但各表員數ノ記  
載方ハ逋背罪即決表ト同シク數字ヲ以テ記入シ千位ニ、點ヲ附シ金額ノ  
四位ニハ〇點ヲ附シ厘位ニ止マルモノトス

第一表

第一項ニハ科料ノ言渡逋背罪即決例第八條ニ據ラサルモノヲ受ケタル金額ヲ悉皆收納セシモ  
ノニ就キ其人員及金額ヲ掲ルモノトス但前年ノ言渡ニ係ルモノト雖モ本  
年ニ至リ收納セシ者ハ此ニ合ス以下各項モ亦此例ニ依ルヘシ  
第二項ニハ即決例第九條ニ依リ科料金ヲ假納セシメタル後其言渡確定シタ  
ル人員及金額ヲ掲ルモノトス  
第三項ニハ言渡シタル科料金ヲ完ク收納シ能ハスシテ拘留ニ換ヘタル人員  
及金額ヲ掲ルモノトス

第四項ニハ科料金ヲ假納セサルニ因リ留置セシ人員及其金額ヲ掲ルモノト  
ス

第五項ニハ言渡シタル科料金額中ノ幾部ヲ收メタル人員ト其納否金額ヲ區  
別掲載スルモノトス即チ科料壹圓ノ言渡ヲ受ケタル者(姑ラク一人)資力少  
クシテ僅ニ貳拾五錢ヲ納メ殘金七拾五錢ハ收納スル能ハザルヲ以テ拘留  
ニ換ヘシトキハ人員ノ欄ニ於テ納否ノ中間ニ一ト記シ金額ノ欄ニ於テ納  
ノ下ニ〇、二五〇ト記シ否ノ下ニ〇、七五〇ト記スルノ類ナリ

第六項ニハ納期限内ニ在テ未タ全部ヲ納メス又ハ金額ノ内幾部ヲ納メ又ハ  
納期過去ルモ逃走等ノ事故ニ依リ年末マテ納否未定ニ係ル人員及金額ヲ  
掲ルモノトス例ヘハ壹圓ノ言渡ヲ受ケタルモノ二人アリテ未タ全部ヲ納  
メサル時ハ全部ノ下人員ノ欄ニ於テ二ト記シ金額ノ欄ニ於テ二、〇〇ト  
記シ又五拾錢ノ言渡ヲ受ケタル者三人ノ内一人ハ四拾錢一人ハ三拾錢一  
人ハ貳拾錢ヲ納メ殘金ノ納否未タ決セサルヲ以テ換刑スルニ至ラサル時  
ハ人員ノ欄ニ於テ納否ノ中間ニ三ト記シ金額ノ欄ニ於テハ納ノ下〇、九〇